



編集発行者  
千葉大学医学部  
るのほな同窓会報編集部  
〒260-8670 千葉市中央区亥鼻1-8-1  
千葉大学医学部内  
るのほな同窓会  
電話 (043) 202-3750  
FAX (043) 202-3753  
e-mail : info@inohana.jp  
HP : http://www.inohana.jp/

千葉大学医学部同窓会報 第151号 題字 故 鈴木五郎 (大11卒 元るのほな同窓会長)

### 医学研究院長・医学部長就任挨拶

薬理学 中 谷 晴 昭 (北大・昭49)



このたび、平成21年4月1日より徳久剛史教授の後任として医学研究院長ならびに医学部長を拝命することになりました。この長い伝統を誇る千葉大学医学部の医学部長を務めさせて頂きますことは、大変光栄に思いますと同時に、その責任の重さを痛感しております。

国立大学の法人化から既に5年が経過し、第1期の

中期目標・中期計画はいよいよ最終年度を迎えております。既に昨年度、千葉大学に対する法人評価が行われ、部局毎に研究および教育を中心とした評価が行われました。齋藤康学長のもと、教職員が一丸となつて大学評価・学位授与機構による法人評価に対応致しましたが、幸いなことに、医学研究院は研究面で非常に高い評価を得ることができ、教育面でも満足できる評価を頂きました。これも、医学研究院構成員の日頃からのためまい努力が認められたものと思っております。しかしながら、法人化以後国立大学法人を取り巻く環境は極めて厳しく、国からの運営交付金は毎年一定割合減額され、それに見合った定員の削減が求められております。福田康一郎、徳久剛史研究院長の下、医学研究院では過去6年間で10名近い教員数の削減が実行されてきましたが、現段階での試算によりますと今後6年間で医学研究院では更にその2倍程度の教員数の削減が求められる可能性があります。医師不足により、来年度から医学部入学生定員が110名へと増加するにもかかわらず、

（次面につづく）

### 附属病院長再任のご挨拶

小児病態学 河野陽一 (昭48)



このたび附属病院長を再び拝命することになりました。もとより微力ではありますが、今までの2年間病

院運営に携わった一人として、附属病院の状況と次期への抱負を述べ同窓会の皆様へのご挨拶とさせていただきます。

本院は現在再開発中であり、昨年5月に新病棟が開院し、つづいて既設棟の改修工事を進めております。ちなみに、新病棟を「ひが

し棟」とし、今までの本館は「にし棟」、母子棟は「みなみ棟」と呼び名を変えました。既設棟の改修工事は、みなみ棟から始まり次ににし棟を行い、平成22年を目処に終わる予定です。改修工事が終了すれば、次に外来棟を現在の病院玄関脇に建てる計画で、地上4

階、地下1階の建物で外来機能をここに集約させます。

### 「るのほな同窓会」

#### 総会開催のお知らせ

平成21年度るのほな同窓会総会を左記により開催いたします。

1. 日時 平成21年6月20日(土) 午後4時より

2. 場所 東京・銀座アスター

お茶の水賓館

電話 03-3293-1801

3. 議事等

(1) 名誉会員の推薦について  
(2) 年次活動について  
(報告事項)

(1) 庶務部報告  
(2) 事業部報告  
(3) 平成20年度決算について  
(1) 決算報告  
(2) 監査報告

(1) 庶務部報告  
(2) 事業部報告  
(3) 平成20年度決算について  
(1) 決算報告  
(2) 監査報告

(1) 庶務部報告  
(2) 事業部報告  
(3) 平成20年度決算について  
(1) 決算報告  
(2) 監査報告

このような病院の再開発工事に伴い病棟の稼働は制限されますので、特にこの2、3年の本院の経営状況は決して安定したものとは言えません。そこで、平成20年度決算に向けて、経営の効率化を強化を進めており、経営内容の見直しを徹底しました。

（次面につづく）

会費 一万円

学生会員は無料  
(当日受付にて申し受けます)

個人情報保護のために同封のシールを貼り、返信用葉書にて出欠の返事をお送り下さい。なお、ご返事のない場合は、総会の議決を議長にご一任頂いたものとさせていただきます。

(6月12日必着)

なお、東京るのほな同窓会は午後3時30分～4時に開催します。

### 紙面紹介

総会開催のお知らせ	1
就任挨拶	4
叙職感想	3
卒業祝辞	4
亥鼻祭開催について	4
クラス会	7
各地るのほな会	7
研修プログラム	8
学内情報	10
追悼文	10
著書紹介	12
オンライン会報	13
議事報告	15
平成21年度入学者名	16
人事異動	17
雑文雑談	18
会館設立	19
卒後研修先	20
編集後記	25



中谷先生のつづき

教員数を減少しなければならぬことは、教育・研究・診療活動の著しい低下を招く恐れもあり、全学および部局レベルでの組織改革は避けて通れない状況となっております。このよう

り、最終的な入局者が減少しております。本学出身の優秀な人材が流出していることは本学の将来や千葉県

も引き続きご支援頂きたくお願い申し上げます。元々浅学非才の身ではござい

て、職員の労働環境の整備が重要な課題です。社会的にも注目されてい

また、医師臨床研修プログラムは、プライマリケア研修に加えて、国より専門

以上附属病院の運営に関する私の考えを、一部ですが述べさせていただきます。ここに記した課題は、

す。以上附属病院の運営に関する私の考えを、一部ですが述べさせていただきます。ここに記した課題は、

医学教育でも更なる改革が必要となっております。現在研修必修期間の短縮が検討

が3年次編入されましたが、それが3年次編入であるため、本格的な医学専門教育の開始が3年次となっております。

春爛漫の候となりました。同窓会員の皆さまには益々ご健勝のごと

製薬企業については平成20年度は「日本製薬企業連合会」を窓口として二千五百万円のご支援を頂きました。

また、建設の具体案については田辺政裕先生(昭49)に建設委員長に新たに

いよいよ募金活動も最終年を迎えました。目標とする金額には遙かに及びません。

同窓の皆さまには、ご友人等に広くお声を掛け頂くとともに、一〇一〇万円以上のご寄附を是非お願い申し上げます。



るのほな同窓会館設立事業会から報告とお願い

財務委員長 寺澤捷年(昭45)

春爛漫の候となりました。同窓会員の皆さまには益々ご健勝のごと

また、建設の具体案については田辺政裕先生(昭49)に建設委員長に新たに

製薬企業については平成20年度は「日本製薬企業連合会」を窓口として二千五百万円のご支援を頂きました。

いよいよ募金活動も最終年を迎えました。目標とする金額には遙かに及びません。

# 受章の挨拶

## 瑞宝重光章



昨年11月5日皇居にて叙勲の栄に浴し、誠に光栄に存しました。

これも一重に今日まで私を支えてくださいました多くの皆様方のお陰であると、心より御礼申し上げます。同時に、この栄誉は千葉大学長として頂いたものであり、従いまして、皆様方を代表して私に授与されたものだと思っております。千葉大学皆様の勲章であります。

## 磯野 可一 (昭33)

めに多くの方々に多大の迷惑をお掛けしたことも事実であり、申し訳なく思っております。お力を貸してくださいました方々に厚く御礼申し上げます。

一方、私が学長になれましたのは、一重に医学部の先生方のお陰であります。私は1958年千葉大学医学部を卒業し、外科医の道を志し中山恒明教授の主催する第二外科に入局しました。そして、1985年第二外科の教授となり大教室の矜持と伝統の重みを双肩に担い、世界に冠たる教室作りを目指して、ここでも最大限の努力をしたと思っております。そのため、第二外科の先生方には大変厳しく中山シュレの真髓を強行したと思えます。幸いにも、第二外科の同門の方々の暖かいご支援とご協力により、1996年約4万人の会員を擁する日本外科学会の会長として、千葉で総会を開催することが出来ました。本当に良く頑張つて私に付いてきてくださいました教室員に改めて御礼申し上げます。その他、医学部長として、病院長として多くの

方々のご支援とご指導を得て、成長させていただきました。最終的には、1998年学長に推薦していただき、また他学部の方々の暖かい

ご協力により学長となることが出来ました。そして、今日があります。本当に有り難うございました。

# 就任挨拶

## 千葉大学大学院 医学研究形成外科学

### 教授 佐藤 兼重 (昭51)



面への配慮は必須となり、できる限りに親身になったコンサルテーションが必要となります。

私は昭和51年千葉大学医学部卒業後すぐに、昭和大学形成外科に入局し以来30数年間形成外科を担当してきました。さて私が形成外科への志をいだいたのは医学部5年生のころでした。当初より外科志望だった私でしたが、形態異常に心を悩ませる人、心の傷を持った人たちに今後の長い人生を前向きに生きてもらうために、外科手術により救いたいとの気持ちが芽生えました。当時外科の教科書として使用していたChristopher's Textbook of Surgeryを紐解いていたところ、形成外科の項目にあった眼窩開離症の手

術に心が奪われ形成外科に取りつかれてゆきました。頭蓋顔面の形態異常に対して開頭術を併用して行う外科手術(Craniofacial Surgery)に興味をもち、卒業後昭和大学形成外科に学びました。しかしそのような手術は昭和大学では学習できず、診療・研究の大半は恩師塚塚卓弥教授のメインテーマである口唇顎口蓋裂でありました。また当時はすでにマイクロサージャリーを用いた微小血管吻合術による遊離組織移植が始まって間もない頃でした。この手術技術も主には独学で習得し、頭頸部から四肢などの組織欠損への再建手術の一環としてマイクロサージャリーの応用を進展させてきました。

この度初代一瀬正治教授の後任、2代目として母校千葉大学医学部形成外科学講座を担当させていただきますことは喜びに耐えませんが、形成外科は本邦での設立後、まだ51年の経過しかございません。その守備領域は多岐に及びますが、単純には形態異常を外科手術によって改善させることを目的とします。形成外科における私の専門分野はパリ大学留学中に研鑽・研究をした①頭蓋顔面骨外科、②

## 鹿児島大学大学院 医歯学総合研究科医歯学教育開発センター

### 教授 センター長



### 田川 まさみ (昭56)

平成20年10月1日より、鹿児島大学大学院医歯学総合研究科医歯学教育開発センター教授ならびにセンター長を拝命いたしました。鹿児島大学医学部は、130年まえにイギリス人Williamが薩摩藩に医学学校を開いたことに始まる教育の歴史ある大学です。センターの業務は、医歯学教育の充実、発展をめざして医学、歯学教育への提案、運営、評価、そして教育研究やFDの支援等、多岐にわたっています。現在、全国の医学部では少人数教育や実技試験の導入等大幅な教

大学院生の教育に力を注ぐつもりです。まだまだ浅学非才の身ではございますが、任期の許される限り、渾身の努力を惜しまず千葉大学のさらなる発展に貢献する所存でございます。何卒よろしくお願い申し上げます。

フオード大学内科感染症部門の Postdoctoral fellow として William Robinson 教授、Patricia Marion 先生のもとで、発症初期の宿主細胞の分化と肝炎ウイルス増殖に関する研究を行い、帰国後も研究は続け、国際学会や論文発表も数多く経験させていただきましました。しかし、2人の子供を抱えながら満足できる研究結果を出していくことがしだいに困難な状況となっていました。その時関わった学生教育が、学生と患者さんに重大な責任を負うものであり、よい教育は確実な医療の向上につながり、医師誰もが経験する悩みや困難な状況を乗り越える力を学生と若い医師に与えることができるものと考えました。優れた教育を追求することは国際的な研究に匹敵する価値があり、自分の力を発揮できる仕事であると感じました。当時は医学部教育改革を進めていた時期であり、平成14年からは、田邊政裕教授の卒後生涯医学臨床研修部(現総合医療教育研修センター)の助手を兼務することとなりました。さらに世界的権威であるイリノイ大学シカゴ校医学部の医療者教育学修士課程に入学し、大学の業務の

傍ら、世界中の同じ意志を持つ仲間と討議しながら、学問としての医学教育、最先端の医学教育の現状、理論に基づいて実践しさらに発展するというリーダーとしての医学教育者のあり方を学びました。総合診療部助手を経て、平成18年度からは医学部に設置された医学教育研究室副室長を兼務し、田邊教授のご指導のもと教育専門部署の構築を経験させていただきました。医学教育の特徴のひとつは明確なニーズの存在です。医師、医学部、研修病院はめまぐるしく変わる社会の変化に対応することを求められますが、教育の成果を得るには時間がかかります。望ましい方向性を追求して本質的な教育を実施することが、教育成果が将来に役立つものとなり、そ

の過程は創造的で、柔軟に対応できる組織と人とのコミュニケーションが必要で、鹿児島大学は教員の教育に対する熱意が高く、これから医学部教育改革に取り組むにあたり、大きな可能性を感じております。鹿児島大学桜ヶ丘キャンパスは、鹿児島の市街地より5kmほど離れた岡の上に、医、歯学部、研究科および医学と歯学の附属病院があり、亥鼻キャンパスを思い起こさせる場所です。私の部屋からは雄大な桜島を、会議室からは美しい錦江湾を眺めることができます。同窓会の諸先生方にご指導いただいた全ての経験を糧として、教育者として医学・医療に貢献していきたいと思っておりますので、今後ともご支援をよろしくお願い申し上げます。

### 祝辞

平成20年度千葉大学医学部  
卒業証書・学位記伝達式

ゐのはな同窓会会長 伊藤 晴夫 (昭39)

皆様、ご卒業おめでとう御座います。これは皆様の目的達成ではなく、あくまでも出発点です。皆様の前には素晴らしい未来と可能性が広がっています。しか



今年に歴史的な年だと思えます。良い出来事の一つは、米国に黒人のバラク・オバマ大統領が誕生したこととです。米国は変わることが出来る偉大な国だということを実感させられました。一方、悪いことの代表は、戦後最悪と言われる深刻な経済の落ち込みです。これも利益追求に走った果ての姿であります。医療崩壊もあり、これらにより高齢者は医療と食事を控えているという恐るべき事態が発生しています。経済不況と医療崩壊の根っこは同じであり、道徳崩壊だと思えます。これに対して、皆様は正義感を持って取組まれることを希望いたします。本日より皆様は千葉大学の

し、皆様がここまで来られたのは、皆様の能力・努力も勿論ありますが、家庭環境その他にも恵まれていたからです。このことに感謝し、これからの態度と

は、一つは会員の親睦と医道の昂揚であり、もう一つは千葉大学医学部の支援であります。ゐのはな同窓会は、図書館に対する補助金、東医体支援費、若い研究者に対する奨学金、雄翔寮の支援、課外活動助成、留学生支援など幅広い支援をおこなっております。これ以外にも同窓会館の改修、卒業後に関連するものとしては、文献検索支援、卒業後所属する支部の支援費、研究活動支援費などに、かなりの援助を行っています。現在の大きな問題は、学生が合宿やサークル活動なども行える新同窓会館建設です。このような大学のシンボルとも云える建物は強く求められているものと考えます。立派な同窓会館は学生の種々の活動に必須であるだけでなく、優秀な研修医を呼び込むためにも重要です。募金活動に対する皆様の直接・間接のご協力をお願いいたします。皆さんも感じているでしょうが、私立大学などの同窓会を通じた団結の強さは驚かされます。千葉大学の卒業生は優秀で一人でもやっつけていける自信があるから纏らないのだという意見もあります。優れた力が

集まれば更に強力になるものと思えます。是非とも、若い皆様力が合わせて、千葉大学医学部の愛校心を強めていくことを希望します。ゐのはな同窓会報は充実して来ましたので、現在、ホームページの充実を力をお願いしております。ここでも皆様の、ホームページ作りへの積極的な参加をお待ちしております。以上、簡単ですがお祝いとお願いの言葉を述べさせていただきます。

### 二〇〇九年度 千葉大学亥鼻祭 開催について

二〇〇九年度亥鼻祭実行委員長  
医学部4年 池内博紀

例年に引き続き、今年度も亥鼻祭を開催したいと思います。昨年度は「one」をテーマに取り上げ、文字通り1から亥鼻祭を作り上げました。当日は5,000人も来場者を迎えることができました。

亥鼻祭は今年で復活7年目を迎えます。今年度は、亥鼻キャンパスの学生がより個性を發揮できる亥鼻祭を目指したいと考えております。そして、より独自性のある「祭」にしたいと考えております。学生の想像力とエネルギーを發揮し、それを地域、ひいては社会へと発信するためには場所が必要で、さらに普段勉学に励む学生を部活などの枠を超えて大きく集めるための場所も必要です。亥鼻祭は現在この二つを満たす、亥鼻における唯一の場であり、年に一度の貴重な表現の場となっております。今年度以降も、こうした場として、亥鼻祭を一層発展させていきたいと思っております。

なにとぞよろしくお願い申し上げます。



# ク ラ ス 会

もくろ会

昭23

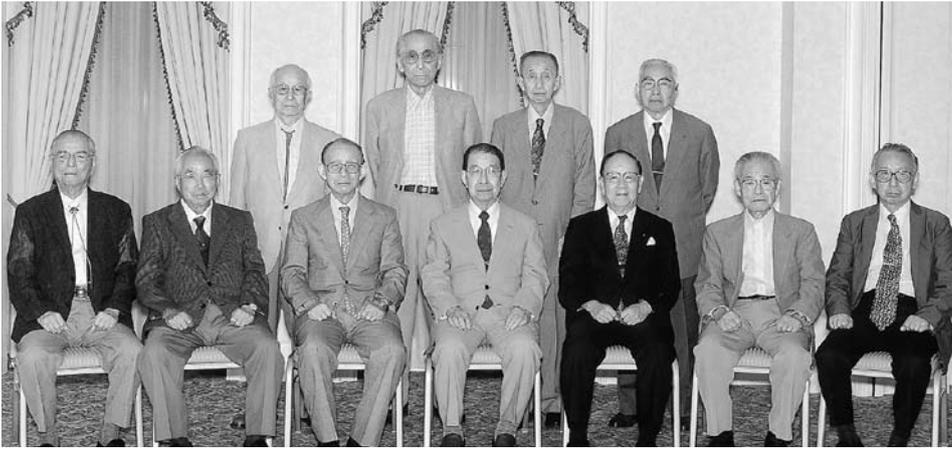
卒後60年、我々は齢80をとうに過ぎ、元氣だった吉田元学長をはじめ多くの友が雲煙万里の彼方に旅立って行った。

然しクラ

ス会は休まず続いており、今回も9月27日、東京駅前の工業倶楽部で開催された。

集まったのは新潟から馳せ参じた杉山静也君を初め12名で、皆驚く程元氣な上、大部分の人は何らかの形で医療に従事している。

話は戦争中、千葉が焼け野原になつてしまった頃か



ら現在まで、談論風発、楽しい一時を過ごして散会した。今年も9月に行われる予定である。

出席者左から

前列・九島璋二、大久保欽司、竹内博通、板垣修造、柴田鐵郎、宮崎隆次、上野高次  
後列・吉岡宏三、多賀谷讓、前田裕、奈良四郎  
(柴田鐵郎)

# 山 紫 会

昭34

平成20年11月9日(日)

小雨。交通の便から定宿となった東京丸の内ホテル7階「椿寿」で、恒例の山紫会が開かれた。会員31名、同伴の奥様2名、計33名が出席、盛会であった。幹事の谷嶋俊雄君の事前通知により、昨年出席した何人かは、病欠とのこと。また既に昨年ので「会議は踊る」をドイツ語で元氣よく歌った兼重忠司君の計報を本会報で知っていた。今年は何となく暗い気分で開催することになった。

会は、これまでに逝去された13名の級友の冥福を祈つてから、多田富雄君のリハビリの成果の「カンパイ！」で始まった。

後期高齢の「長寿者」ともなると、何らかの「病い」を抱えて当然。仲間の「闘病記」は、心臓病、脳梗塞、がん、糖尿病、脊柱管狭窄症に及んだ。が、暗い話しはこれまで、あとは明るく建設的な話題に移った。

先ず、多田富雄君が「寡黙なる巨人」で、小林秀雄賞を受賞したことである。この賞を取ることは容易ではないらしい。「論を成り立たせる文に対する賞でも

あるべき」、「この国の文化は感性の文化であり、美しい花がある文章でなくて...」。多田君の受賞理由は「論」と「花」のある「文」にあった。ご本人は「どんな賞よりこの賞を受賞したことがうれしい」と語った。まことに慶賀にたえない。

植村研一君は、がんと闘いながら「病院改革・再建」と「医事紛争の予防」という、日本が直面する喫緊の課題に取り組んでいる。医事紛争対策は「うそをつかない」「ごまかさな

い」「あやまる」とのハーバード方式が効果的であると。彼の若さと情熱に脱帽。

飯田暢子さんは「認定NPO法人水保フォーラム」で、水保病に苦しんでいる患者さんの救済に活躍している。かつての「川鉄公害訴訟」の地で、「水保・千葉展」の開催までこぎつけた。足が少し不自由なのに、女性らしいやさしさに溢れる活動の報告であった。

三人とも「病い」を克服しながら、ヒューマニズムに根差した社会的活動を展開していることが素晴らしい。健常者として深く恥じ入る次第で、心より敬意を

表したい。「暗」と「明」にはさまれて、「笑い」があった。

吉川保雄君は、アルゼンチンタングが好

「10年ダンスをやっているが、若い女の子を大っぴらにパートナーに選べる」

ことが若さの秘訣と自慢。「大きな人形」というタンゴを想い出した。

清水順三郎君の墓参りの話は秀逸であった。久しぶりに墓参りしたところ、同じ形の墓石であったので、つい隣の墓に花と線香を手向

けて、帰ってきてしまったとの珍談。このほうは、花は花でも多田君のそれとは異なり「花違い」であった。ご先祖は喜ぶやら悲しむやら、一同大笑。落語のネタとなる。



来年は、千葉での卒後50周年記念大会。植田仲夫君の発案で、記念誌をだすことになった。

谷嶋俊雄君、松本博雄君、神田芳郎君、ご苦勞さまでした。

出席者左から  
前列・谷嶋俊雄、松本博雄、藤田昌宏、清水順三郎、多田夫人、多田富雄、山田明義、飯田暢子、矢野柁多、中列・高橋功、三浦光彦、塩川喜之、田口勝、飯田主人、羽田忠、植村研一、長尾佳子、遠藤幸男、鈴木高彦、植田仲夫、神田芳郎、蜂巣裕

後列・野口夫人、露崎輝夫、石川克夫、吉川保雄、野口徹男、横山哲夫、清水夫人、坂田早苗、小林充尚、吉井功、赤星至朗

(吉井 功)

さんろく会

(昭36)

平成20年度の36会同窓会(昭36卒)は11月15日・16日にわたって、茨城県袋田温泉ホテル「想い出浪漫館」で開かれた。

水戸駅から水郡線に乗り約1時間、福島県境に近い山間の温泉宿で、袋田の滝や紅葉で知られたところである。さんろく会は現在70名(約10名は既に鬼籍)であるが、通知を出した全員より返事があり(回収率100%)、会員31名、会員



夫人4名、計35名が出席した。

第1日目の宴会では、皆今はやりの後期高齢者(直前の者僅か)だが、アルコールが入るにつれ昔に

返った様に元気になり、談論風発・意気軒昂、二次会だけでは治まらずに二次会が終わったのは深夜2時過ぎで、一升瓶3本、焼酎大瓶2本が戦果であった。改めて諸氏の若さに敬意を表する次第であった。

第2日目、ゴルフ組と観光組に分かれて行動。観光組は観瀑台が新設された袋田の滝、次いで長さ35メートルの日本一の長さをほこる竜神大吊橋を見学。小雨であったが周辺の山並の紅葉の見事さを充分堪能できた。そしてメインイベントである金砂郷村の「そば打ち体験」。4人毎の組に分かれて粉を練りのばし細く切る。簡単に見えるが全くうまくいかない。指導のおばさんに教えを乞うたが「ちゃんと云った通りにしてください」といわれてもままならず。それでも自分でつくったそばは、太さがまちまちみてくれは良くないが味は最高(?)と誰しもが思った。満腹の後には黄門様で有名な「西山荘」を散策。その後、バスに揺られて6時過ぎに水戸駅で解散。2日間の平成20年度36会は次回を約して無事終わった。

ラブでお互いの腕を競ったとのことだった。2日間を振り返り、今更ながら諸氏の元気に驚いた次第であり、これからも生きている限り続けたいというのが皆の願いである。今回は長野県が噂に上がっている。今回は茨城県在住の左記5名が幹事を務めた。

- 幹事：白石、大川、松山、中田、測上
- 出席者左から
- 前列：稲葉和也、前嶋清、関幸雄、塚原重雄、測上隆

4248 るのな同窓会 (昭48)

昭和42年から48年まで千葉大学に学んだ「4248のるのな同窓会」が、平成21年2月8日(日)、四川豆花飯荘(東京駅新丸ビル内)にて開催されました。そろそろ里心のついてきた年頃なので、今回より年1回の開催になっていきます。まだ現役の方が多く、多忙中にもかかわらず34名の参加がありました。

最初に、橋名誉教授、永野名誉教授より、お元気な現況をお話して頂きました。学生時代、はるかかなたの偉い方であったのに、卒業後36年経ってみると、近藤省三、黒田健昭、中島伸之、瀧澤英夫、二列目：小池宏之、福井進、吉井逸郎、野尻雅美、石下峻一郎、大川治夫、鈴木光、山崎修道、三列目：松山輝男、稲葉夫人、塚原夫人、前島夫人、測上夫人、青木謙、小野沢君夫、副島訓子、三宅伊豫子、四列目：白石博康、中田義隆、藤塚立夫、谷合明、長谷川幸子、松本圭、長谷川修司、栗原正明、野本一夫 (測上隆)

ほとんど年の差を感じなくなっているのも不思議です。ほとんどのが60歳を過ぎ、なかには定年となって、自由の身となっている方もいるようです。今回ただ1人59歳の、徳久剛史大学院医学研究院長により、「千葉大学医学部の現状と方向性」の講演をして頂きました。医療界全体にきびしい風が吹き、困難な状況なかで、研究を進展させ、千葉大学医学部、更には日本の医療の将来まで展望が拝察され、実に興味深い内容でした。また記念事業としてるのな同窓会館が計画されており、その経費を会員の寄付でまかなうべく、更なる協力が必要であるとのことでした。会員としても盛り立てていく必要性を痛感しました。次いで小川富雄が「オペラの楽しみ」と題して、実際に日本及び海外の劇場で見たオペラ鑑賞について話しました。徐々に余暇時間の増え代にさしかかってきている皆様、興味の一いつとして、オペラを紹介しました。



辛口の四川料理をつまみながら歓談が極まなり、夢中になると、お互い学生時代に戻って、クラスで話しているような気分になってきます。脳海馬あたりを大いに刺激した効果があったと思われま

す。記念撮影は名カメラマンの金井、竹中、千葉氏によって行なわれ、花束贈呈があり、次期幹事を伊藤よしみさんにお願ひし、再会を楽しみに、散会となりました。

なお会費の中から10万円を新のりはな同窓会館設立に寄付することとしました。

出席者左から

前列・大内美南、片桐博子、保阪亜莉沙、小川富雄、永野名誉教授、橘名誉

五二八会 (昭58)

さる2008年2月9日ホテルニューオータニ幕張ステラにて五二八会(52年入学または58年卒業)が開催されました。五年ぶりである今回は卒業25周年記念であり、ほぼ半分の五十余名が参加しました。前回インドネシア在住で参加できなかった横内君の乾杯の挨拶で始まり、恒例となった名司会者、山本君、丹野君の進行で、あつという間に学生時代の気分に戻り、大いに騒ぎました。前回の経歴を踏まえ、近況報告の時間をたっぷりつつも家庭・趣味のこと、そして

教授、徳久剛史、内田宏子、岩田泰子、伊藤よしみ、永野耕士

中列・白井厚治、長谷部正晴、浅野誠、中村孝雄、安野憲一、山本義一、木村秀樹、梅田透、小林健一、野口哲夫、高島忠夫、川口英昭

後列・遠藤信夫、安東昌夫、坂口明、小林道生、野村馨、田澤浩、旭俊臣、高圓博文、金井英夫、千葉次郎、竹中正治 (小川富雄)

持病のことなど、話題が尽きることもなく、最後は司会の丹野君から「話題は、持病のことだけ。話は簡潔に」という命令が下ったにも関わらず、予定時間を大幅に過ぎ、ホテルの方々に紹介してくれた山本君にも迷惑をかけてしまいました。その後、岸君の一本締めで次回の再会を約束しお開きとなりました。恒例二次会にも半数以上が参加し、千葉県の医療問題、医療訴訟のことなど、皆、泥酔状態であるにもかかわらず(泥酔しているから?)高尚な話題で楽しい時間を過ごしました。十分飲んだにもかかわらず、二次会費なしで済んだのは、会計幹事に就任した佐藤君

の手腕によるものです。

ただ、残念だったのは、会の終了後間もなく4月29日に、今回もぎりぎりまで参加予定だった

石井信行君が亡くなったことです。ひょうひょうとした彼にもう会えないかと思うと、残念でなりません。一次会の最後に「次

も一人もメンバーが欠けることなく再会しよう」という声が上がりましたが、皆が揃って次回の五二八会に参加できることを幹事とし



各地のりはな会 だより

鉄道のりはな会

平成21年3月19日、芝弥生会館において鉄道のりはな会が開催されました。この会は、旧国鉄の職域病院であった中央鉄道病院(現JR東京総合病院)と社員の健康管理部門であった中央保健管理所(現JR東日本健康推進センター)に勤務されていた先輩方を中心になり設立された歴史ある会です。ここ十年余り会合を持つ機会に恵まれませんでした。ところが、昨年山口哲生先生(昭53)がJR東京総合病院副院長に就任されたのを機に、久々に15名の会員が集いました。山口先生の開会挨拶の後、国鉄時代最後の中央保健管理所長を務められた佐久間光史先生(昭25)の乾杯で宴が始まり、会員から近況の報告がありました。喜寿を過ぎてもライフワークの健康管理関係の仕事に頑張っておられる先生や、多くの患者さんを救ったメスを置き医療情報科の教官に転身して教壇に立つておられる先生

など、まだまだお元気多才な一面をみせてくださった先輩方に続き、医療の最前線で市民の生命を支える現役世代からは、厳しい医療情勢の中の各科の懸命な仕事ぶりや、鉄道ならではの社員の睡眠時無呼吸症候群の診断と治療を担当する仕事、最近まで欧米での留学・研究者生活を送った経験などが紹介され、様々な方面で実力を発揮している会員の活躍を確認することができました。なつかしい昔話と将来の仕事への夢や情熱が入り混じった楽しい歓談の時間はあつという間に過ぎ去り、最後に惜しかった先生方からのメッセージを幹事が代読し、記念撮影を行い、次回の再開を期して散会となりました。

出席者左から 前列・湯口恭利(昭55)、小島和彦(昭41)、小高稔(昭33)、実川浩(昭29)、佐久間光史(昭25)、長嶋

辰(昭25)、永島敬士(昭35)、山口哲生(昭53) 後列・平野成樹(平10)、河野千代子(平9)、山田嘉仁(平元)、高梨一紀(昭59)、西本良博(昭51)、内山寛子(昭55)、室田欣宏(岐阜昭47) (湯口恭利)



# 研修プログラム

千葉大学医学部附属病院

## 麻酔・疼痛・緩和医療科

准教授 磯野史朗(昭59)

麻酔・疼痛・緩和医療科は、その名前が示すように『苦痛を和らげ、命を守る麻酔科医』であることを使命としています。当科では、多くの優れた臨床医や研究者を輩出した経験と実績を生かし、かつ、オープンに様々な意見を取り入れつつ、それぞれの研修医が納得のいく研修を行っていきます。現在千葉大学医学部附属病院では、9名の後期研修医が麻酔科専門医取得を目指して研修を行っています。

私たちは、専門的な麻酔研修のスタートとして、多くの症例を経験することは重要ではないと考えます。当科入局1年目は、それぞれの能力に応じた一例一例を良く考えながら麻酔管理・全身管理を行うことが重要です。すべての麻酔管理は麻酔科上級医の指導下に行われます。術前に自ら立案した麻酔計画を上級医と相談し、さらに当日朝の症例カンファレンスでブレゼンテーションし、軌道

えます。その後の大きな飛躍のためにはしっかりとした基礎が必要なのは言うまでもありません。

1年間の大病院での研修終了後の3年間は、千葉県救急医療センターなどの特殊医療施設や君津中央病院などの総合病院を含むChina Anesthesiologists Network (CAN) 参加施設を中心として、日本麻酔科学会が麻酔科専門医の条件として求める多種多様な臨床経験を積むことになります。CANは、『仲間を育てる』仲間として働くために協力するという共通の目的意識を持つ麻酔科医と施設を繋げるネットワークです。現在私たちの呼びかけに対し、千葉県内を中心に23の医療施設が参加しています。『Yes, we CAN!』という仲間意識と意欲を表わすCANの合言葉は、オバマ米大統領よりも早くから当科ホームページで掲げられました。CAN施設以外でも全国的特色ある施設での研修を希望する場合、本人に大きな飛躍が期待できると判断されれば積極的に支援するのオープンマインドの当科ならではの研修方針です。臨床能力を大きく伸ばした後、研修5年目には

大学での研修を再開します。ここでは臨床能力の学問的裏づけと、より難易度の高い麻酔管理や後輩の指導を行い、研修のひとつの目標である麻酔科専門医試験合格を目指します。当科で研修することにより、単に麻酔をかけられる医者ではなく、科学的な病態の分析やそれに基づく確実な処

## 和漢診療科

助教 地野充時(富山医大・平)

和漢診療科は2005年10月に

千葉大学医学部附属病院に開設された新しい診療科です。現在、日本のほとんどの病院では西洋医学を中心に診断および治療が行われています。様々な内科的治療や外科的治療の発達により、以前では不治の病とされていた病気が克服できるようになってきたことはとても素晴らしい医療の進歩ですが、西洋医学が急速に進歩してきた反面、医療現場では逆に様々な問題も出現しています。例えば、西洋医学的に色々な検査を行なっても何も異常も認められないものの、様々な症状を訴える患者さんに対しては、原因がわからないので治療することに難渋して

置や治療が行える麻酔科医になってほしいと願っています。私たち麻酔科医の能力が患者さんの予後を決めることになってはなりません。麻酔科医全体の臨床能力向上に寄与する基礎研究・臨床研究を志す麻酔科医を育てることも私たちの研修の大きな目標です。

このように西洋医学だけでは十分な治療ができないことがあるという認識のもと、新たに開設された診療科が和漢診療科です。当科では和漢薬(エキス製剤および煎じ薬)を中心に治療を行っています。和漢診療学では陰陽虚実、気血水、五臓などの独特の考え方で患者さんの全体像を把握し、異常をとらえることを得意とするため、西洋医学的な検査等で異常が認められない患者さんも治療の対象となります。さらに、手術後の不定愁訴や合併症、抗がん剤の副作用などに対しても和漢薬治療を併用することで良い結果を得ることも経験しています。

当科では和漢薬治療と西洋医学の両方の長所と短所を知っている医師が診療に従事しています。従って、西洋医学的にアプローチした方がよいと考えられるときには西洋医学の専門医に紹介し、必要があれば西洋薬も処方します。これが従来の漢方医と異なる点です。西洋と東洋の医学にはそれぞれ長所と短所があるため、両方の医学を協調させることが理想的な医学であり、我々はこれが「和漢診療学」の最も基本的な哲学であると考えています。千葉大学医学部附属病院では西洋医学だけでなく、和漢診療学も研修できる日本でも数少ない大病院の一つなのです。

### 国立病院機構

## 千葉東病院

院長・千葉大学臨床教授 山岸文雄(昭50)

当院は平成16年3月に旧国立佐倉病院と旧国立療養所千葉東病院が統合し、国立千葉東病院として発足しました。そして翌4月に独立行政法人化し、国立病院機構千葉東病院となりました。当院の診療内容は腎疾患の高度で先駆的な医療(臍・腎移植、臍島移植などを含む)を行うとともに

に、神経・筋疾患、呼吸器疾患、重症心身障害に関する専門医療などの政策医療の機能に加え、エイズ拠点病院としての役割も担っています。これらに加え、すべての診療科の機能を十分に発揮し、患者さんの人権を尊重し、十分な説明と同意に基づく安心で質の高い医療を提供し、地域に信頼

当科の研修プログラムでは、和漢診療学だけでなく内科学の研修をするように義務付けています。すなわち、関連病院あるいは大病院にて内科を中心とする研修を行い、日本内科学会認定内科医を最初に取得します(4年次以降)。その後、日本東洋医学会の定める研修施設(もちろん当科は研修施設です)において3年以上の本格的な和漢診療学の臨床研修を行えば、日本東洋医学会認定漢方専門医を取得することができます(7年次以降)。さらにこの研修と併行して希望により大学院に入学し学位を取得することも可能です。



ト講義では複数の医師が非常勤講師として講義を受け持っています。また5年生ではベッドサイドの実習を、6年生のクリニカルクラークシップでも、毎年1〜3名を受け入れています。当院は千葉大学医学部と距離的に近く、また各学会の専門医・指導医が多く在籍しており、医学教育に関して密接な関係を保っています。

される病院を目指しています。当院の附属看護学校は平成19年3月に閉校しましたが、その後の看護師確保のため、淑徳大学看護学部を誘致しました。当院敷地内に立派なキャンパスが出来上がり、平成19年4月に開学しました。当院からは医師が看護学部の学生の講義に出かけ、また学生の病院実習を引き受けており、平成23年3月には約100名の第一回生が卒業する予定になっています。

が管理型として研修医を受け入れるもので、3名の募集枠を設けています。当院には産婦人科や精神科があるので、協力型施設として近隣の病院に協力いただいています。第二は千葉大学が管理型となるB1プログラムで、2名の研修医を1年間受け入れます。第三は千葉県病院群のプログラムで、6か月間2名を受け入れます。3つの異なる研修プログラムが存在するわけですが、研修医同士は皆和気あいあい、かつ真剣に研修に励んでいます。また後

期研修では当院独自に3年コース、5年コースのプログラムを作成しています。が、まだこのプログラムに沿った研修を行っている研修医はいません。しかし千葉大学や県立病院群からの依頼を受けて、2か月間から12か月間の後期研修を行っています。

### 沼津市立病院

副院長・千葉大学臨床教授 後藤 信昭(昭50)

ンターを有するという特徴があります。研修医も指導医が最先端の医療を研究する姿を見て、臨床へのフィードバックの大切さを実感できており、有意義な研修が可能であると自負しております。千葉大学医学部から、当院での初期研修、後期研修に多くの方が参加いただけることを希望しております。

当院は静岡県東部、沼津市の500床の公立病院です。毎年管理型の研修医が3人、協力型として千葉大と浜松医大から合わせて3〜5人の研修医が入ってきます。平成20年度には1年次、2年次併せて11人の研修医が在籍していました。当院の臨床研修における基本方針は、「研修医は沼津市立病院で誇りと自信を持って研修し、自分の目指す医師像を確立する。そのために指導医をはじめ、当院のスタッフは協力を惜しまない。」です。当院は3次救命救急センターを併設しています。ここには救急専門医の他、ほ

ぼ全ての科のドクターが関わりますので、ここでの2ヶ月間の研修は研修医にとっても勉強になるようです。CPA、多発外傷、薬物中毒、心筋梗塞、脳外科疾患、緊急消化管出血などに直接タッチすることができ、病気が重いです。救急専門医の研修医への指導は厳しいものがあります。麻酔科2ヶ月の必修も研修医



にとつてはとても充実した時間のようで、選択科目として追加研修する研修医も少なくありません。外科研修はいわゆる外科氣質を学ぶ格好の機会です。ここでの研修中に一度は地方会レベルですが、学会発表するように指導されています。内科研修では内科、循環器内科、呼吸器内科、消化器内科を各々1ヶ月半ずつローテートし、患者を5〜6人受け持ちます。循環器内科のきびきびした診療、糖尿病、膠原病などのじっくりした内科診療、消化器内科や呼吸器内科での癌やその他専門性の高い診療な

ど、各チームの中に溶け込んで様々な内科医を体験できます。当院は4年前から画像も含めた完全な電子カルテに移行しており、カンファレンスや個々の患者検討は端末さえあればどこでも出来ます。特に内科系ではカルテを閲覧することで、専門医の考え方や治療方針を読み取ることができ、患者を担当しなくても学ぶことは無尽蔵です。また当院は周産期センターにもなっていますので、産科、NICUの研修も十分に出来ます。

### 上都賀総合病院

院長・千葉大学臨床教授 一戸 彰(昭45)

〇〇は年3回行っていますが、症例発表は研修医が主体的に行っています。当院も地方病院の例に漏れず、5年前より医師数は減り続け、現在の正規医師数は70人(おかげさまでおのはなの同門は半数を占めています)ですが、人を育てることが当院の将来につながるかと、研修医や若い医師の指導には今後も力を注いでいく所存です。のはな同窓会の益々のご指導、ご鞭撻をよろしくお願ひ致します。

上都賀総合病院は昭和10年に地域住民により『自分達の共同の力で自分達の健康を保とう』という共同組合精神のもとに、設立された病院です。その後幾多の変遷を経て、経営主体は、昭和25年4月1日に上都賀厚生農業協同組合連合会となりました。当院のある鹿沼市は宇都宮と東照宮で有名な日光との間にあります。鹿沼市は古くから鹿沼土とさつきで有名な所です。5月にはさつき祭りが開催され、さつきの盆栽の

展示、さつきマラソン、花火大会が催されます。秋には今宮神社の祭礼で江戸時代で作られた二十数台の山車が繰り出され『ぶつづけ』と呼ばれるお囃子の競演が見られます。当院は栃木県の県西地区の中核病院としての役割を担っています。鹿沼市を主として周辺の日光市、宇都宮市、西方町が診療圏で、人口は約30万人です。二次救急医療機関、へき地中核病院、災害拠点病院、脳卒中地域拠点病院、栃木

県の地域が診療連携拠点病院の指定を受けています。当院では常にレベルの向上を心掛けており平成8年に臨床研修病院の指定をうけています。平成14年には財団法人日本医療機能評価機構の認定を受け、平成19年に更新していま



本院は一般病床392床、精神科120床の計512床の病院です。21の診療科を有し、各種学会の認定施設となっており認定医、専門医の受験資格が得られます。大学病院など大病院と異なる特徴は、1. 地域唯一の総合病院であるため色々な疾病の患者が来院しプライマリー・ケアの研修に最適です。2. 各診療科との壁がなく他科の先生と相談がし易い。3. 精神科を有する総合病院であるということなどがあります。

医師の研修については、診療に支障をきたさない限り学会出張の制限はありません。旅費、宿泊費、参加費が支給されます。海外学会については当院の所属で発表する場合に限り旅費も支給されます。その他では、研修医室が新しくなりました。また、秋には常勤医師に新米の配給があります。

寝る間を惜しんで勉強する事は若いときには必要かもしれませんが。しかし、長続きする為には仕事は楽しくするべきと考えています。自然環境に恵まれた当院で楽しく研修してみませんか。私たちも悔いのない研修を修められるよう精一杯支援します。夏休みに一度見学に来てください。交

通費の支給があります。毎朝家を出ると厳しい寒さに頬を打たれ、病院へと向かう足も重くなりますが、そんななかにも日中は、そこはかとなく春の気配を感じるようになってきました。(この原稿は2月に書いております。) 外科医として踏み出した最初の1年が終わろうとしておりますが、まさに「光陰矢のごとし」といったところでしょうか。

私は平成18年に千葉大学を卒業したのち、1年目は松戸市立病院で、2年目は大学病院で初期研修を終えました。外科医になろうと考えましたが、我々の学年は初期研修制度が始まって3年目ということもあってか、東京の病院や他大の病院など、同期の外科志望の仲間は様々な道を選択しておりました。そんな中で私は非常に悩んだ末に、母校の大学病院で外科の道を歩む決意を致しました。そこで、大学で研修をして良かったと感じた点を幾つか述べたいと思います。

まず基礎からしっかりと学ぶことができる環境があること。長年培ってきた教育システムがあり、丁寧に指導してくださる先生方の存在や色々経験させようという雰囲気があるため、自然と多くのことを学ぶことができました。

また普通の一般病院では見られないような疾患も経験できるということも一つ。さらに、当科では週1回の外病院で研修する機会が与えられます。これは研修先によっても異なりますが、内視鏡や超音波などの検査であったり、大学病院ではあまり見られない小手術であったり、普通の一般病院での仕事も経験でき非常に力になりました。

その他にも、例会の際には発表のやり方を一からみっちり叩き込まれたり、いろいろな学会に参加したり、飲み会でハメを外して飲んで酔い潰れたり(?) : 毎日が新鮮であり日々楽しく勉強できました。そして何よりも、同期の良き仲間がいることで刺激になり切磋琢磨できること

透平18  
榎木  
千葉大学先端応用外科  
シニアレジデント(後期研修医)から

は幸せなことだと思えます。最後に、外科医が減少の一途をたどっている今日この頃ですが、多くの後輩

が共に当科で研修を積み、歌って踊れる外科医ではなく、世界屈指の外科医を目指す仲間となって頂ければ幸いです。

予防医学センターのスタッフは公衆衛生をトータルに研究するため、医学系、薬学系、看護系、教育学系の公衆衛生に関連する研究・教育者が集まっています。現在は柏キャンパスと亥鼻医学部に事務所を置いていますが、2008年度の概算要求で「千葉大学予防医学センターを拠点とした地域連携予防医学プロジェクトー健康持続社会の構築ー」が特殊要因経費として認められ、2009年度以降も継続が決まっています。この予算を基盤に、将来的にはセンターを公衆衛生大学院として発展させるべく、ミネソタ大学や台湾大学と提携するなど海外連携を強め、また、国内の公衆衛生研究者とも連携を進めています。

時代のニーズにマッチした研究・教育・実践に取り組みますので、暖かいご声援をお願いいたします。



予防医学センター長 森 千 里 (旭川医大・昭59)

学内情報

千葉大学予防医学センター

- ・環境要因由来の健康影響リスクに配慮した社会形成
- ・先進国ならではの新しい課題に対応する必要がある。地球環境を守るため、サステイナブルな社会を実現しようという取り組みが世界的に進められていますが、健康面でもサステイナブルな社会を実現するため、3つの柱(対象)について、4つのPに関する研究を進めます。

- 【3つの柱】
- 1. からだの健康
- 2. ところの健康
- 3. 健康に良い環境
- 【4つのP】
- 1. Public Health
- 2. Preventive Medicine
- 3. Town Planning
- 4. Prospective Genome Cohort

※予防医学センター HP  
http://cpms.chiba-u.jp/index.html

# 大学図書館での出会い

## 二つの驚き

名誉教授 橋 正道 (東大・昭29)

今、大学図書館では主要な学術雑誌などの電子化が進んでいて、研究室内から、コンピュータで文献検索ができるため、図書館を自ら訪れる研究者は減少し、少し寂しい風景です。たまにはじかに訊ねてはいかがでしょうか。私はそこで印象的な出会いを持ったのです。

物が吾妻町から現在の亥鼻に移る2年前です。そのふりい図書館が地下保存庫に置いてあるものと、検索なしに私は確信を持っていました。先人たちのご努力を信頼していたのです。革装丁は少し傷んでいたものの、その「ランセット」が静かな威容をもってそこにありました。

きっかけは、明治の初年に海軍軍医の高木兼寛(慈恵医大創始者)が白米中心の兵食を改善し、脚気病を海軍より追放したその後の経緯をより詳しく調べることでした。この業績への国外での評価は極めて高く、結局はビタミン学を生み出すのですが、国内での医学界主流派の対応は極めて冷たいものでした。高木の業績を初めて海外で紹介した論文を読もうと、医学図書館の地下書庫(電気可動式集密書架室)を訪れました。目指すは、英国の医学雑誌「ランセット」の1887年(明治20年)のものでした。

高木の業績の紹介文には個人の著者名がなく、「ランセット委員会」と記してありました。読んでみて、高木の論文内容(彼が創刊した成医会月報の英文版4報)の把握、データの解釈、展望の余りの見事に私はあつと驚きました。詳しくは紹介しませんが、最後に、「今の時点で、高木の食事実験の結果は壮大にして議論の余地がない、これのみで彼は母国の人より感謝され、また尊敬を受けるに値する」と結んでありました。

間を費やしました。近代の自然科学では、学説は作業仮説であり、社会的な権威と同じく、ゆるぎない事実の前では謙虚であるべきというのが指導原理ですが、これは当時の我が医学界には非常に遠いことだったのでしょうか。

さて次の出会いは「ランセット」そのものです。上記の調べを終えて、改めて図書館の書棚を見回すと、私が調べた1887年(明治20年)版はおろか、1824年(じっさいは1823年)の第1巻から揃えてあり、厳かにそこに並んでいました。驚きました。1824年というと、ナポレオンが亡くなった直後、英国ではビクトリア女王がまだ幼児のころです。千葉大学で誰がどのようにして、これからのバックナンバーを手に入れたのでしょうか。苦労されたと思います。ともかく先輩のこの努力に脱帽でした。このような基盤があつて、大学のその後の発展があつたことを銘記すべきでしょう。

以上が二つの驚きですが、実は「ランセット」の創刊の機縁とその古さに強い好奇心を覚えています。終わりに余興的な話、雑誌の一部に座談(Table Talk)という欄があり、1824

年の第1巻には、パリの新聞よりとして、「音楽の神童」という見出しで、在仏のハンガリー出身の「crist (リストのこと)」という11才の少年は、すでに卓越したピアノリストであり、大家のスタイルで作曲もする、モーツァルト以来の天才少年だということです。学問の

ふくらみと、絢爛たる19世紀ヨーロッパの雰囲気伝わってきました。

コンピュータ検索は現在の科学には不可欠でしょうが、古典的な検索方法には、強い印象が伴い、また副産物があるということをご理解ください。

壊へと至ります。残念ながら、ゐのはな同窓会の力量は、未だ極めて低いレベルです。母校を抱擁するのみならず社会の一大基盤でもある米国内大学の同窓会の現状には遠く及ばず、日本における大学同窓会、例えば一橋大如水会、などにみられるような強力さも持ち合わせていません。しかし、それらに追い付き追いつ越せという気概だけは持ちたいものです。

各地の地区ゐのはな会が充実化していることから、更なる支援が必要です。それと共に、富田裕先生らのご努力し企画してきた首都圏ゐのはな会ないしは全国ゐのはな会の充実化です。その上で、会員が全国で活動しやすいように、拠点病院での活躍がしやすいように、陰ながら応援したいものです。そのようなことができるのは、ゐのはな同窓会あつてのこととなるように願う次第です。そこで、一つの夢があります。現在135周年として企画中の同窓会館が、全国各地に建設されるのは夢のまた夢でしょうか? せめて、同窓会館という概念の中身を次世代へ伝えたいものです。ゐのはなを「医の華」とするために。

### 42年間の会報編集作業を終了して

## ゐのはな同窓会の活性化から近代化そして未来化へ

鈴木信夫(昭47)

1966年、本会報の編集が先生に委ねられていた頃、諸先輩に従い編集作業のお手伝いをし、42年間修業をさせていただきます。その間に、多くの先生方より様々な教えを賜りました。それらの教えの中で刻印すべきことは、本会報への「無償の愛」でしょうか。別の表現ならば、「猪鼻の地で学ぶことのできた幸運に対する感謝の念」でしょうか。お金や理屈では測ることのできない重みを本会報が有しているからです。人生の一端が凝集されている記事で満載され、今後、増々深い遠な哲理が含蓄されることを願うばかりです。

さて、本会報が会員名簿と共に同窓会活動の基盤となつていことから、編集作業を介して垣間見ることができた事柄を記しておきます。国の施策に縛られることのない同窓会事業は、会則、特に第三章、第三条の「医道の昂揚に努める」に則り、創意工夫が可能で、全世界的に社会システムの改変期となつてい現在、極めて重要な観点です。同窓会は母校だけのためにあるのではなく、日本全国あるいは世界の各地で活躍している会員の先生方のために役立てる会です。

歴史の教訓として、定例的活動のみに陥ると、どのような組織も形骸化し、崩



# 追悼文

## 井出源四郎翁の 帰泉下を悼惜す

筑波大学名誉教授 小形 岳三郎 (昭33)



時を選ばず」そのものでした。

先生は昭和19年という戦時中に本学を卒業され、一時海軍軍医として勤められた以外は、本学のために身を捧げられました。先生は戦後わが国の病理学の重鎮であつた滝澤延次郎先生の跡を継いで昭和43年に病理学教室の主任教授となられ、その後は、医学部長・学長として大学運営に手腕を発揮されました。

元本学学長・元のはな同窓会会長の井出源四郎翁が昨年11月28日に泉下の客になられました。初秋に先生の米寿の祝いで、病理一門による重陽の宴を催し、先生のご健康を祝つたばかりでした。宴会での先生のご挨拶は流暢そのものであり、歳を感じさせないものでした。お話は戦後から始まり、先生が乗っていた軍艦を自ら北陸の沖に沈めたこと、復員して信州の禅寺にこもられたこと、自分の将来を求めて、焼け野原になつた千葉に向き恩師滝澤延治郎先生の門を敲いたこと等を、井出節よろしく語られ、同門一同酔いしれたものでした。ご高齢とはいえ、今回のご他界は、私どもにとって「無常の風は

井出先生とのお付き合いは、私が大学院生として滝澤教室に身を預けたときに始まります。井出先生は当時留学帰りの若々しい助教で、われわれ多くの院生の面倒をみて下さいました。厳しい滝澤先生のもとでは、井出先生は母親役としての存在であり、門下生の心の支えでもありました。先生はDr. Cowdryのもとに留学中、気管支上皮の化生が肺癌発生に深い因果関係があることを発表

し、帰国後は肺癌と喫煙との関係を強調されました。香月秀雄先生が設立した肺癌研究施設の病理研究部門最初の教授となられたときに、私は井出先生のもとで教室を打ち立てることになりました。今は無き連絡道路脇の石炭置き場を新しい研究室に改造して肺癌の研究を始めました。夜はトタン板の屋根の釘穴から月の明かりが室内に差し込むようなバラックの中で、裸電球のもと先生と二人で顕微鏡をのぞいていたことをいまでもよく思い出します。冷房もないので、夏の猛暑の日にはアルコールが熱で爆発することもありました。そこはまだ戦後そのものでした。香月秀雄元学長と井出先生との仲は兄弟以上の心の付き合ひであつたことは皆の知るところであります。大戦中海軍軍人として南太平洋を股にかけて活躍された香月先生との間には、生死を潜り抜けてきた人たちの絆を感じました。私は両先生とともに北陸の旅をさせていただいたとき、ご二人から海軍魂の話の聞かされました。海軍軍医であつたわが父から同じようなことを聞いて育つた私としてはご二人に深い愛着を感じたものでし

た。「無」から出発した肺癌研究施設の設立は、この海軍魂以外には考えられません。当時、井出先生との二人教室でしたが、心は大海の如くでありました。戦時中の空襲で焼けた基礎医学の各教室の残骸に(現在大学病院の立っているところ)、ひっそりと立つ桜の木の下で、昼の弁当を開きながら人生論を戦わしたことを懐かしく思います。ある時、私が学生を教えることになつて、先生に何を教えたらいいか質問したところ、「愛の哲学を教えていらつしやい」といわれました。私は、現在最後の仕事として看護の教育に携わつていますが、学生には「kanaからkanunaへになることが医療人のこころである」と今でも「愛の哲学」をずっと教え続けています。

井出先生の大きな業績の一つに中国との友好があります。昭和56年末に経済開放政策以前のことですが、国際協力事業団の仕事の一つとして、北京に中日友好病院を設立することになりました。井出先生はその日本側の代表として活躍されました。田中総理の訪中で国交は開かれましたが、まだまだお互いに理解がうすく、

中国の代表との交渉も大変だつたそうです。折衝が行き詰つた折、「論篤是與、君子者乎、色莊者乎」(議論の篤実だけでは、その人が君子か、外面だけを飾る人かが分からない)という論語(先進)の名言に、杜甫の詩一つを白紙に書き添えて、中国の代表にみせたところ、互いに気持ちを通じるところ、互いに気持が通じたということでした。先生は若い頃から「唐詩選」の愛読者であり、「論語」に造詣の深い滝澤先生の弟子であつたことも役に立つたのでしよう。私は筑波大学にて若い中国医師の留学生教育に携わり、中日友好

病院をはじめとして多くの中国の病院に若者を送り出しました。中日友好病院が順調に動き出したとき、敦煌まで二人で中国を旅しようとして先生に誘われましたが、都合がつかず二人だけの中国旅行ができなかつたことが心残りです。亥鼻の学び舎をこよなく愛した老先生を、また一人亡くしました。井出先生にはまだまだ本学の長老として、これからの本学の未来を見守っていただきたいかつた。同門会にとつても掛け替えのない人を失いました。先生のご冥福をお祈りし致します。

## 井出源四郎先生を悼む

千葉大学のはな同窓会会長 伊藤 晴 夫 (昭39)

本会名誉会長 井出源四郎先生には平成20年11月28日に天に召されました。謹んで哀悼の意を表します。存分に天寿を全うされたとはいへ、まだまだお元気でしたので痛切の極みです。先生は、平成6年から12年までのはな同窓会会長を務められました。先立ち大学では、病理学教授(昭40・57・7)、千葉大学医学部長(昭53・

8・57・7)、さらには千葉大学学長(昭57・8・63・7)を歴任されました。特に私どもには、名高い肺がん発生病理のご研究のほか、医学部長として現医学部本館の全面改修に陣頭指揮をとられ、学長時代には千葉大全体の大学院拡充、国際交流推進に赫々たる成果を残されたことが強く印象に残っております。先生は、のはな同窓会

に對しては特別の愛情をお持ちでした。翻れば、この数年、たびたびお目にかかり親しくお話を承る機会に恵まれたのはまことに光栄であるとともに幸運でした。その度に先生ののはな同窓会に對する思いが深いことに感銘を受け、また、お話を伺うことに同窓会の大切さを再認識させて頂きました。先生が学生として在籍された頃は、のはな同窓会の播種期であり、今日の卒業生と教職員、在校生が一体となつた同窓会の原型をつくられるなど、先生の同窓会に對するご尽力には計り知れないものがあります。当時の状況、先人の御苦勞話、感動的なできごとなども興味深く伺わせて頂きました。先生が特に薫陶を受けた方として、昭和30-33年に同窓会長を勤められた井上病院の花岡和夫先生のお話を伺いました。花岡先生はステッキをつかれるようになっても大学まで歩いて来られ、大学なり同窓会なりが事有るごとにお知恵をお借りしていたそうです。井出先生の同窓会への献身のきっかけとなつたのも花岡先生の情熱のおかげだといりました。井出先生が、人と人との繋がりを大切にさ

れ、まさに情熱を人から人に伝える方であられたことに、改めて思いを致しました。

先生は昭和19年のご卒業で、先生ご自身の戦争の体験についても詳しく、また生々しい出来事をお話いただいたことを思い出します。戦争は悲惨で非人道的であるので絶対にしてはいけないということをもいつも強調されていました。先生が、学長就任前後から力を注がれた中国を中心とする多くの国々との国際交流の推進の根底にもそのような平和への思いがあったものと拝察されます。戦争を知らない世代が人口の大半を占める時代になりました。先生の戦争体験については是非記事にして残して頂きたいとお願ひしていましたのに、実現することなく急に亡くなられてしまいましたことは残念でなりません。



### 同窓会員著書の紹介

伊藤晴夫 著

#### 「ボケない食べ方」

グラフ社 一、〇〇〇円 税別



伊藤晴夫 (昭39)

高齢化社会を反映して、現在、認知症患者は約160万〜170万人といわれています。20年後には300万人を超え、65歳以上の高齢者の10人に1人が認知症という状態が予想されています。私が食事と病気の関連について研究を始めたのは20年以上前でした。その時の課題は、頻度の高い尿路結石の再発を抑える食事は何かでした。驚いたことに、その結果は生活習慣病(当時は成人病と呼ばれていた)予防のための食事と近いことでした。尿路結石症も生活習慣病の一種であることが分かったわけですから、

私にとつてこれは二度目の生活習慣病の一種であることが認められつつあります。私にとつてこれは二度目の生活習慣病の一種であることが認められつつあります。私にとつてこれは二度目の生活習慣病の一種であることが認められつつあります。

え、15年後には認知症に関わる介護費用は倍増し、年間10兆円に達するという予測もあります。

現在、介護保険対象の要介護者の半数が何らかの認知症です。

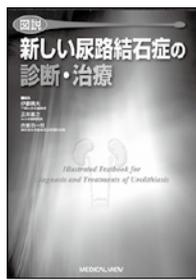
伊藤晴夫 (昭39)・正井基之 (昭57)・赤倉功一郎 編

#### 「図説 新しい尿路結石症の診断・治療」

#### 「図説 新しい尿路結石症の診断・治療」

メジカルビュー社 一、〇〇〇円 税別

東京厚生年金病院泌尿器科 赤倉 功一郎 (昭59)



本書は、千葉大学名誉教授伊藤晴夫先生、みまま病院院長正井基之先生それに小生の編集で、千葉大学泌尿器科学教室同門の諸先生が共同執筆したものである。

尿路結石症は、男性の生涯罹患率が約15%と推定されており、きわめて頻度の高い疾患である。最近はいわゆるメタボリック症候群に関連してさらに発生率が増加している。尿路結石の治療として、体外衝撃波結石破砕術(ESWL)ならびに内視鏡的治療(Endo-

知症症状を持っており、認知症はこのシステムの最大の課題と言われます。このように、介護にとつて認知症はもつとも大きな課題です。

低侵襲治療が可能となった。これに伴って、ややもすると、形成された結石を除去することのみに心が払われて、再発予防への注意がおろそかとなる傾向があった。しかし、尿路結石症の再発率は高く、患者にとつてのみならず医療経済の観点からも、病因検査、生活指導や再発予防の治療が重要である。本書では、尿路結石症について、診断から、結石除去、再発予防の方法まで、実際の臨床の場で遭遇する順に、体系的にわかりやすく解説されている。

を198年に上梓し、好評を得ていた。今回、前著を基礎として、その後の治療法や研究の進歩を大幅に取り入れて、あらたに本書を書き下ろした。本書の特色として、第一に、ともに臨床研究に従事した同門の泌尿器科医により執筆されたことがあげられる。したがって、内容に一貫性があり、また、著者相互に内容を批評し修正を加えて、より優れたものにするのができた。第二に、図表や写真を用いることとし、読者が一見して理解しやすいことを心がけた。第三に、しばしば遭遇する疾患からきわめて稀な例まで、実際に経験した症例を多数提示して、画像や検査所見、治療法や臨床経過を掲載し解説した。これにより、実臨床に直ちに役立つものができたと自負している。第四に、近年よく用いられるクリティカルパスの実例をお示しして、便宜を図った。そして、最後に、最新の研究成果や今後の展望などについて、「コラム」として編者3名が執筆紹介し、読者の参考に供した。

千葉大学泌尿器科同門からは、伊藤晴夫先生編集のもとに「尿路結石症外来」

サイドに置いてひもとくに有用な書といえる。通読すれば尿路結石症の最新診療について理解できるであろうし、また必要の所に辞書のように参照するようない方もできよう。是非とも一読をお勧めする。

森崎信尋 (昭50) 著

#### 「小林秀雄の脳を覗く」

— 辺縁系的な 生の批評家 —



近代文芸社 一、〇〇〇円 税別

人がある言葉を吐露するとき、脳のどこが輝いているのか? 医師である著者が、わが国近代文芸批評の創始者・確立者であり、20世紀の日本を代表する知性、小林秀雄の文章を通して、彼の脳の働き方を分析し、生物学的、物理的、唯物的な言葉で語る。

(裏表紙より引用)

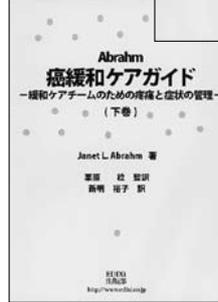
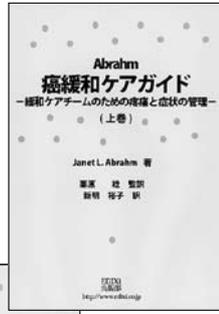


書評

Janet L. Abraham 著  
栗原 稔 (昭36) 監訳 新明裕子 訳

癌緩和ケアガイド  
—緩和ケアチームのための疼痛と症状の管理—  
疼痛と症状の管理—(上・下巻)

企画情報部 高林 克己(昭50)  
臨床腫瘍部 滝口 裕一(昭58)



発行 M.O.X 出版部  
発売 星雲社  
価格 各二、八〇〇円  
(税別)

昨年暮張で在宅医療学会を主宰したときに初代会長の栗原先生が監訳されたということもあり、先生から頂きました。一見してとても読める分量ではないかと思つたのですが、いざ読んでみるとこれが大変実践的であり、著者の多くの診療経験をちりばめ、まとめて呈示してあつて、その理解しやすいのに驚かされました。具体的な内容は今まで行つてきた緩和の基本的な作業、Bad news telling から全ての項目に関して、単に技術だけでなく精神医学的に、また心理学的にも詳細に記述されており、癌治療のバイブルとして読むべき本であると思ひました。癌の合併症とその治療に伴う副作用に

対して通り一遍の治療法しか知らなかった私にとつて、ここに書かれている具体的な内容は目からうろこでした。これらのごく当たり前な「いろは」も熟知せず、誰にも教わることなく、この歳まで癌患者を診療してきてしまったことを後悔しています。現在癌診療に無関係の医師は極めて少数でしょう。緩和ケアというだけでなく、少しでも癌を診療することがある臨床医であるならば、この本は必ず読むべき本であると確信しています。(高林)

どのような技能であれ、これを習得しようとする場合に最も確実な方法はその技能に長じた先生に師事し研修を積むことである。中途半端な見よう見まね、聞きかじりの知識に基づく医療は患者に多大な危険と苦痛を強いる。

がん緩和ケアはがん診療を専門とする医師なら誰でも精通している必要があることはみなよく分かっている。しかし外科、内科、放射線科の多くのがん専門医にとつて緩和ケアは得意とはいえない。原則は知っている。キー・ドラッグの名前も用量も知っている。しかし例えばモルヒネをはじめとするオピオイド治療に失敗する原因のほとんどは不十分な副作用対策に起因するとされるように、要するに応用可能な十分な技能や経験が伴っていない現状がうかがえる。だからといって、既にエスタブリッシュしたがん治療専門医の全てが今から緩和ケアの専門研修に多くの時間を割くことは困難であろう。

標題の「癌緩和ケアガイド—緩和ケアチームのための疼痛と症状の管理—」をはじめ手にした時は正直「読みにくそうな本だな」と感じた。上下巻を合わせると本文だけでも420ページ。要所に表の挿入はあるものの、本文に簡潔書きの部分はほとんどなく、多くのページはベッタリと文章が並んでいる。栗原先生の監訳者まえがきに、別の出版社から出版を断られた経緯が説明されているが、さもありなんと思つてしまった。しかしこれは私の不覚であつた。ぱらぱらとページをめくつて興味を持った章から読み始めたところ、いつの間にかすっかり没頭してしまつた。本書は知識を提供する教科書ではなく、臨床経験を体現する研修の場合なのである。本文中にゴチャクで書かれているのは実際の臨床例についての記載である。その前後の膨大な文章の中には、表や箇条書きで決して伝えることのできない具体的なディテールがすべて、そう、「すべて」書いてある。あたかも実際の患者を前に、経験豊かな専門医が自分に向かってマンツーマンで教えてくれる臨床実習であるかのような錯覚を覚える。「栄養状態のよい高齢者では、フェンタニルの経皮吸収率が著明に高まる。おそらく皮膚の脂肪/水分比が高いからであろう。従つて低用量が適量になる可能性がある。

パッチは骨の上ではなく、脂肪のある場所に貼られることを確認する(上巻、202ページ、一部改変)。そして読み慣れてくると「ベッタリと文章が並んでいる」という認識も間違いだと思つてくる。はじめに手にした時の印象とは異なり、意外と多くの小見出しがあることに気づき、これを頼りにすればとばし読みも容易になってくる。この点は出版社がもう一工夫していれば第一印象もかなりアップしたと思う。改訂版の際に改善を期待したい。

このような特徴ある、しかも大部の本書を翻訳・監訳された新明先生と栗原先生のご苦労に心より敬意を表したい。文章が読みやすいのはもちろんだが、原書の薬剤に関する記載を日本の保険承認の実情に合わせて注釈を入れたり、例えば化学療法による悪心・嘔吐の予防方法について原書では2002年の米国がん治療学会(ASCO)ガイドラインに則して解説しているのに対して、訳注では2006年の改定ガイドラインを参照するよう注意喚起するなどこの翻訳書の信頼性を極めて高いものにしてている。

計画」では緩和ケアに大きな比重を置いており、拠点病院におけるがん専門家に對する緩和ケア研修を必須としている。文部科学省による「がんプロフェッショナル養成プラン」では、これからのがんの専門家を目指す大学院生、若い医師に對する緩和ケア研修に大きなウエイトを置いている。冒頭ががん専門医でも緩和ケアが得意でないことが多いと書いたが、本書には「何故、(緩和ケアの)アドバンスケア計画は多くの医師にとつて難しいのか」というセクションがある。別の章でも「研修医は、一般の患者よりも緩和ケアの患者の部屋を訪問する事が非常に少ない」という研究結果の解説もある(上巻、98ページ)。わが国だけの問題ではないことがうかがわれるが、まずこの辺を正直に認識するところから出発すべきであろう。その上で、わが国の全てのがん治療専門医とそれを目指す研修医に本書をじっくり読んでいただきたいと切望する。がんで苦しむ患者とその家族のために。(滝口)

と き  
その季節、  
その瞬間の匂を  
味わっていただくために  
どうぞ、おいしい舞台へ。



お近くの店舗は当店ホームページ (<http://www.choushimaru.co.jp>) でご覧ください  
全64店舗 千葉24店舗 東京24店舗 埼玉12店舗 神奈川4店舗  
年中無休 営業時間 AM11:00 ~ PM10:00 ※千葉駅前店のみ PM11:00 まで

# 東京るのほな会 2009. 1. 1 Vol.12

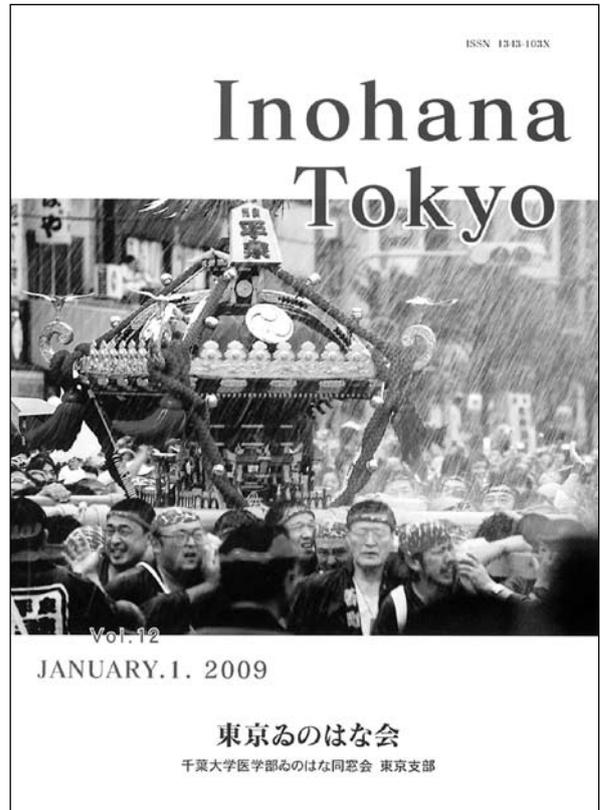
目 次  
Inohana Tokyo vol.12

	Page
巻 頭 言 年頭のごあいさつ .....	斎藤 高徳 1
年頭所感 .....	唐澤 祥人 3
近況第一記念館を尋ねて .....	西家正一郎 5
私とサッカー .....	小沢 昭司 9
東京大空襲 .....	川邊 兼美 13
2009年度理上自強隊 富士総合火力演習 .....	村瀬 祐 27
無言の訴え .....	藤山 嘉彦 33
パリに春らす旅 .....	植垣 有地 37
カルテの信頼性を問う .....	橋本 英明 42
追 悼 貫刺一夫先生を偲んで .....	小嶋 裕 48
編集後記 .....	岩倉 弘毅 50

勤務医通信 vol.13

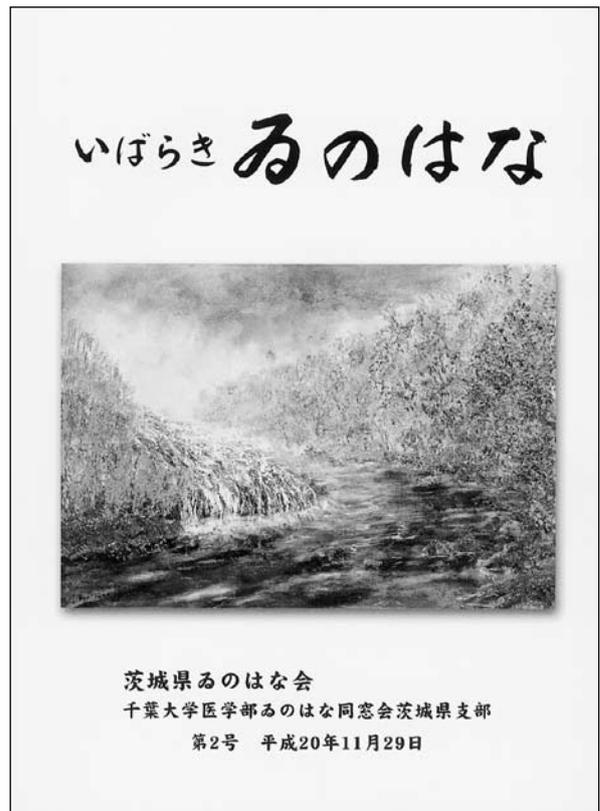
今こそ東京るのほな会 .....	吉原 俊雄 53
東京るのほな会の皆様へ .....	奥野 妙子 55
多摩南部地域病院の紹介 .....	高田 博之 57
百寿研究から学んだこと .....	白澤 卓二 59
最近の緩和ケアについて .....	下山 直人 62
臨時支部長会議事務 .....	69
平成21年度るのほな行事予定 .....	73
東京るのほな役割分担 .....	73
予 算 決 算 .....	矢野 幸夫 74
東京るのほな会則 .....	75



# 茨城るのほな会 平成20年11月29日 第2号

目 次

巻頭言	
過去2年間を顧みて .....	会長 三宅 和夫 (昭和21年卒) 1
エッセイ	
小児科むかし話 .....	佐藤 恒好 (昭和24年卒) 3
ドイツ歌曲からのファンタジー .....	中山 宗春 (昭和29年卒) 7
近況と雑感 .....	小泉 準三 (昭和30年卒) 10
不安が覆う現代日本が安心に 向かうための二つの架け橋 .....	岡村 隆夫 (昭和35年卒) 12
ウォーキングを試みて .....	横山 孝一 (昭和35年卒) 14
夢枕現象考 .....	高瀬 靖広 (昭和40年卒) 16
横着を採るか、病院長を採るか .....	守屋 秀繁 (昭和42年卒) 18
悔い思い出 .....	久野 宗寛 (昭和43年卒) 20
先ず、近況ですが .....	青柳 一正 (昭和46年卒) 21
昔の研究を振り返って思うこと .....	石川 昭雄 (昭和47年卒) 23
還暦を迎えた鉄ちゃん .....	諸岡 信裕 (昭和48年卒) 24
夏の風物詩 .....	鐘味 勝 (昭和51年卒) 27
開業医雑感(私のお気に入り) .....	高田 俊一 (昭和52年卒) 28
筑波大学在籍11年の雑感 .....	住田 孝之 (昭和54年卒) 31
近況報告 .....	仁平 武 (昭和58年卒) 34
近況報告(電子カルテの導入について) .....	宮本 佳明 (平成6年卒) 35
表紙のことば .....	板木 貴夫 (昭和47年卒) 36
編集後記 .....	竹島 徹 (昭和41年卒) 37
会員名簿 .....	39
茨城県るのほな同窓会茨城県支部会則 .....	45





オンライン会報の紹介

るのほな同窓会広報担当理事

鈴木信夫(昭47)

同窓会の広報は、会報「るのほな」で行ってきておりましたが、年3回の発行であることから、広報媒体としては速報性に欠けています。また、動的映像による会員の生の声をお伝えすることができません。さらに、会員の皆様へお知らせすべき情報は増大化して、インターネットを介さないと困難な状況でもありません。そこで、新鮮、動のおよび大容量の情報を迅速かつ効率よく発信する目的から、「オンライン会報」として同窓会ホームページ「るのほな」(http://www.inohana.jp/)の「はな」で検索できます)に開設しました。ホームページを開き、さらに、「オンライン会報」の個所をクリックし、閲覧してください。

2. 映像による情報伝達をタイムリーに行うことを狙いとしたるのほな動画の新設しました。医学研究大学院教授による「生涯学習講座」、病院長とのビデオインタビューによる「病院紹介」、同窓会長と同窓生との「対談」、「地区るのほな会紹介」等があります。「生涯学習講座」では、

3. 同窓生対談や地域るのほな会の活動は、今後積極的に取材してるのほな動画で紹介していきます。取材をご希望される会員の先生は、

最新の臨床研究内容などを受講できます。「病院紹介」では、先輩医師の「現場からのアドバイス」を聴けますし、臨床研修生の「現場からの声」も聞くことができます。そこで、医療現場の改善のヒントとしてや、研修・就職する病院を選択する情報としても活用できます。

E-mail: nobuo@faculty.chiba-u.jp

FA X: 043-226-2038

までお問い合わせください。

オンライン会報企画・取材会員の募集

オンライン会報作成のための企画やビデオ取材活動に参加していただける会員の先生を求めています。参加希望者は、右記と同様の先へお問い合わせください。

オンライン会報の閲覧方法

る(い)のほな同窓会をキーワードにしてYahoo、Googleなどで検索すると下記の画面が表示されます。るのほな動画は、オンライン会報をクリックすると閲覧できます。

「るのほな」のURL: http://www.inohana.jp/

るのほな 千葉大学医学部 るのほな同窓会

Website navigation screenshot showing menu items like 'ごあいさつ', 'るのほな同窓会の紹介', '行事案内', '地域るのほな同窓会', '同窓会賛・助成', '会報', 'るのほな同窓会掲示板', '連絡先変更申請', 'オンライン会報', and 'お知らせ' with a search bar.

オンライン会報の概要

1. 医学・医療の動向や大学評価・臨床研修制度などに関連する記事をピックアップした商業紙報道のまとめを毎月更新しています。

\*るのほな動画

<掲載中>

- 1. 生涯学習講座
1) 肝胆膵外科における最新情報
臓器制御外科学教授 宮崎 勝
2) 救急集中治療医学の紹介と重症敗血症/敗血症性ショックに対する最新の治療
救急集中治療医学教授 織田成人
2. 病院紹介
1) 船橋市立医療センター 前病院長 小澤 俊
「マグネット・ホスピタル時代に対応する地域医療の中核病院を目指して」
2) 東京女子医科大学病院
耳鼻咽喉科主任教授 吉原俊雄
「応用範囲が広い耳鼻咽喉科医療」
3. 対談
1) 鈴木守群馬大学長と伊藤晴夫るのほな同窓会長とのインタビュー
4. 地区るのほな会紹介
1) 栃木るのほな同窓会 平成21年度総会

<近日掲載予定>

- 1. 生涯学習講座
1) 医学教育における代謝・栄養学
西台クリニック院長 済陽高穂
2. 病院紹介
1) 千葉県済生会習志野病院
病院長 山森秀夫、病理部長 菅谷 勇
「医療に直結した病理研修」
2) 深谷赤十字病院
病院長 諏訪敏一、副院長 伊藤 博
「多彩な経歴をもつ指導員と学べる臨床研修」
3) 社会保険船橋中央病院 病院長 高橋 誠
「医師の将来は、最初の10年間で決まる」

<掲載予定>

- 1. 病院紹介
1) 四街道徳州会病院
2. クラス会・地区るのほな会紹介
1) るのほな同窓会 総会 2) 417クラス会
3. その他
1) 長野県医師確保対策室

閲覧する場合の注意

るのほな動画に掲載されている「生涯学習講座」と「病院紹介」は、動画の編集ソフトが違います。

「生涯学習講座」は、モニターに、講師、スライド、スライド・タイトルが3分割された画面で表示されます。閲覧したい画面を指定するとその画面のみモニターに表示されます。本講座を初めて閲覧した場合、閲覧に必要なソフトウェアをダウンロードするかどうかについて、メニュー欄の下に表示されますので、それに従って操作してください。

「病院紹介」は、一般の動画を閲覧するのと同じです。閲覧するにはAdobe Flash Playerが必要です、とモニターに表示された場合は、Adobe Flash Player10をダウンロードしてから閲覧してください。なお、閲覧している動画の先を見たい時は、見たい個所まで早送りして閲覧して下さい。

更新された情報が掲載されないままの状態であった場合は下記に従って操作して下さい。

Google、Yahooの画面表示 => メニューバー ツール => インターネットオプション => 全般 インタネット一時ファイル 設定 => 自動的に確認する の○にチェックを入れる。

平成20年度第2回常任理事会議事要旨抜粋

日時 平成20年11月20日 (木) 午後6時

場所 東京ステーション  
コンファレンス  
602 A室

出席者 伊藤晴夫(会長)、  
大井利夫(副会  
長)、濱田高穂(副  
会長)、小幡裕(参  
事)、田中光(会  
計監事)、青木謙、  
岩倉弘毅、大濱博  
利、三枝一雄、佐  
藤通、白澤浩、鈴  
木信夫、瀧口正  
樹、田邊政裕、角  
田隆文、藤山嘉  
信、吉川広和、吉  
原俊雄  
(敬称略)

協議事項  
1. 新めのはな同窓会館設  
立事業について

(1) 募金状況と会館設立事  
業、記念誌出版事業等  
の方針について  
瀧口正樹理事(寺澤捷  
年新同窓会館設立事業会  
財務委員長代理)より、  
資料7に基づき募金状況  
(総額137,559,000円)  
について説明があった。

① この募金額から考え  
て、当初の3年計画で  
10億円の目標は維持し  
つつも、実現の可能性  
が高まった諸事業の計  
画立案を並行して行う  
ことは、現在の経済情  
勢からやむを得ないこ  
とであるとの意見が多  
くの理事から相次い  
だ。

② 特に、趣意書「同窓会  
館別館」(2億円)の  
学生合宿所に、同窓会  
事務室機能を付加した  
2-2.5億円程度の会館  
は有用性、実現性共に  
高く、名称は別途検討  
するとして、この会館  
設立を推進することが  
現実的選択あるとの賛  
意があった。

③ 135周年記念誌出版は、  
めのはな同窓会宛寄  
附金からの拠出で、  
2千万円程度を上限と  
して立案計画を行うこ  
とを了承した。

④ その他の事業に関して  
は、募金状況等を参考  
に適宜協議すればよい  
のではないかな等の意見  
が出された。

(2) 「第3回・募金のお願  
い」文案について  
① 醸金者の銘板作製を明  
記することに異論はな  
かった(銘板の字の大  
きさ等は一律とする)。  
② 寄附の目標額は10億円  
であること、そのため  
に、希望額を5万円×  
3回、あるいは10万円  
×3回と明記するが、  
高齢者、若手等に配慮  
することを了承した。

③ さらに寄附を頂いた方  
に配慮した文面は、会  
長に一任する。その  
他、当初計画の3回分  
割とは別途の、1次、  
2次、3次募集を行う  
と、3回目以降の寄附  
をお願いしやすいとの  
意見があった。

また、関連して、学  
生からサークルの先輩  
に寄附をお願いしても  
らうのも良いのではな  
いかとの意見が出され  
た(一応、教授会で各  
サークルの部長に依頼  
済みではあるが再度依  
頼する)。

(3) 拡大委員長会議での審議  
事項の報告と検討  
拡大委員長会議(事業  
運営委員会、財務委員  
会、建物・設備等整備委  
員会、記念誌出版委員会  
の各委員長および会長が  
指名した委員により構  
成)を9月29日に開催  
し、記念誌発行、新同窓  
会館建設準備、醸金活性  
化について、事務的に方  
法論を検討したことが報  
告された。

① 記念誌の発行について  
は、本年度中に原稿依  
頼を行う等準備を進め  
ることが了承された。

② 上記①②の2-2.5億円  
程度の会館については  
「別館」の名称にこだ  
わらず、場所、内容等  
とあわせ建物・設備等  
整備委員会で検討を開  
始することが了承され  
た。

2. 平成21年度予算案につ  
いて  
鈴木信夫理事より資料に  
基づき、2月25日の常任理  
事会で平成21年度予算編成  
を協議する際の提案説明が  
あった。ホームページの充  
実については基本的に了  
承、一方、会計作業専任事  
務職員の新規採用につ  
いては人材、安定雇用の観点か  
ら、および常任理事活動費  
については「自由裁量」の  
字義明確化等の観点から、  
慎重な対応が必要であると  
の意見が出された。

1. 留学生奨学金受給者選  
定について  
白澤理事より、めのはな  
同窓会賞選考委員(学内)  
による選考結果に基づき、  
潘婧氏を支給対象者に決定  
したことが報告され、了  
承された。

2. 予算執行状況(中間報  
告)について  
白澤理事より、平成20年  
10月31日現在の中間決算の  
説明があり、決算予測とし  
て、次年度繰越は450万円の  
見込みであり、依然として  
厳しい会計状況にあること  
が報告された。

3. 同窓会報発行について  
鈴木理事より、次報150号  
が12月24日に発行されるこ  
と、またホームページに動  
画を導入したことが報告さ  
れた。

4. 千葉大学校友会  
瀧口理事より資料に基づ  
き、10月5日に開催された  
総会および校友会役員、校  
友会名誉会員について報告  
された。

平成20年度第3回常任理事会議事要旨抜粋

日時 平成21年2月25日 (水) 午後6時

場所 東京ステーション  
コンファレンス  
605 A室

出席者 伊藤晴夫(会長)、  
大井利夫(副会  
長)、小幡裕(参  
事)、秋葉哲生(会  
計監事)、田中光  
(会計監事)、青木  
謙、岩倉弘毅、大  
濱博利、加部恒  
雄、早乙女勇、佐  
藤通、白澤浩、清  
水栄司、鈴木信  
夫、瀧口正樹、田  
邊政裕、角田隆  
文、中田義隆(佐  
藤忠夫代理)、三  
井静、吉川広和、  
吉原俊雄  
(敬称略)

平成22年2月17日(水)  
総会  
平成21年6月20日(土)  
会報発行  
平成21年5月、9月、  
平成22年1月  
同窓会賞決定  
平成21年4月22日(水)  
学外研究助成決定  
平成21年11月18日(水)  
なお、研修病院紹介の会  
については、田邊政裕理事  
と吉原俊雄理事が開催する  
か否かを検討することと  
なった。

2. 平成21年度総会について  
角田隆文理事より説明が  
あり、平成21年度総会は東  
京めのはな会が担当し、6  
月20日(土)16時、銀座  
アスターお茶の水賓館にお  
いて開催されることが承認  
された。なお、特別講演と  
して、唐澤祥人日本医師会  
長に日本の医療界や日本医  
師会の方針等について講演  
頂くこととした。その他の  
詳細については今後検討す  
ることとなった。

3. 役員改選について  
瀧口理事より、平成21年  
度が役員改選の年にあた  
り、総会における会長、副  
会長、参事の選出、ならび  
に理事会(総会と合同)に  
おける常任理事の選出が必  
要である旨、関連する会則

伊藤晴夫会長の挨拶の  
後、会長が議長となって議  
事が進められた。

1. 平成21年度行事予定に  
ついて  
瀧口正樹理事より、資料  
に基づき説明があり、以下  
の行事予定が承認された。  
常任理事会  
平成21年4月22日(水)、  
11月18日(水)

伊藤晴夫会長の挨拶の  
後、会長が議長となって議  
事が進められた。

について説明があった。会長、副会長については、前例に従い、現正副会長の提案を常任理事会で審議し、総会に推薦することとした。参与については、総会への推薦を会長候補者に一任することとした。

常任理事については、支部長に常任理事の推薦を依頼し、理事会(総会と合同)に諮ることとした。なお、常任理事が常任理事会に出席できない場合は、当該常任理事があらかじめ指命した者を代理としうることが承認された。

**協議事項**  
1. 平成21年度予算編成について

白澤理事より資料に基づき、平成21年度の予算編成に当たって、総務費および事業費予算で検討すべき点について説明があった。  
①各種会議出席時等の日当(500円/半日)、②同窓会賞選考委員等への謝礼、③パソコン購入、④ホームページ充実のための増額が了承された。また、基金等の積立も可能な予算編成を行いたいとの説明があり、これらの財源確保のため、一般予算を一律に減額する場合がありうることを了承された。

**報告事項**  
1. 予算執行状況(中間報告)について

白澤理事より資料に基づき、収入の部では、会費収入はほぼ従来通りであること、雑収入206,210円は2009年版名簿発行による収入であるとの報告があった。さらに予算執行状況および決算予測について報告があった。

また、支部事業支援費の有効使用促進について要請があった。

**2. 新のはな同窓会館設立事業について**  
(1)伊藤晴夫会長(寺澤捷年新同窓会館設立事業会財務委員長代理)より以下のように醸金の現状報告と要請があった。  
①経済不況もあり、依然として寄附状況はきびしい。  
②今年度は日本製薬連により、個別に寄附を依頼することは制限されているが、来年度は個々の製薬会社に依頼することが可能となる。  
③附属病院助成会所属の企業にも千葉大学(本部)基金室とは別個に寄附の依頼は可能なので、多くの方に企業訪問等に是非協力して頂きたい。

(2)建物・設備等整備委員会委員長の変更と第1回同委員会報告が田邊政裕理事よりなされた。  
①建物・設備等整備委員

会委員長が伊豫雅臣理事から田邊理事に変更となった。  
②趣意書に掲げられている新同窓会館の本館および別館の建設、記念講堂の補修等の計画を、醸金状況も勘案しながら、委員会で抜本的に再検討し、方針案を常任理事会に諮った上で、総会に提案することが了承された。

(3)5月発行の会報に寄附者名(企業、後援会、教員、同窓会員等全員)を掲載することが了承された。今回は、寄附者名のみを掲載し、寄附額は記載しないこととした。高額寄附者名を銘板に別記する等顕彰のあり方は今後検討することとした。

**3. 広報・編集関係**  
鈴木信夫理事(清水栄司編集長代理)5月発行の会報について報告があった。

**4. 千葉大学医学部と中国安徽医科大学との国際交流について**  
同理事から、千葉大学医学部の卒業生の多い中国安徽医科大学から千葉大学学術国際部国際課に国際交流の要望があった旨、報告がなされた。同窓会としては、安徽医科大学の関係者が千葉大学医学部を訪問する場合等には、臨機応変に対処することとした。

青木 里衣 青山 和弘 関 駿介 園田 至人  
安部佑里恵 新井 隆仁 反田 蓉子 高崎 敦史  
荒川 博明 飯島 雄太 高戸 結花 高橋 典子  
飯野 貴明 池田 英樹 高橋 麻衣 高橋 侑里  
石川 純一 井尻 直宏 田頭 良介 多田 歩未  
市原 康裕 伊東 彩香 辰野美智子 田中 彩  
伊藤 悠 糸川 直樹 手島 優雅 寺山 一馬  
糸谷 拓也 猪野木雄太 戸ヶ崎賢太郎 史聡 諒  
岩崎龍太郎 岩田 翔平 友成 崇葵 中澤 太一  
岩永 光巨 内田 瞬 永久保牙香 永鳥 優樹  
内山 秀平 大内 麻愉 鍋島欣志郎 西井 開  
大島 董 太田 海渡 西川 哲史 二宮 良  
太田 仁 緒方 仁志 布田 圭一 萩原 翔  
桶谷 英司 尾崎 航 畠山 誠矢 早川 優香  
小田 物也 越智 敬大 嶋山 計企 朴 実樹  
折口 慎一 柿沼 康平 林 計企 朴 裕晃  
鹿島田 涉 金井 雅彦 日野 大地 福岡 裕晃  
金木 結佳 亀井 貴紀 裴 祥存 朴 大然  
川尻 紘平 川瀬 勝隆 丸井 優子 松本 忠浩  
河野 恵 川端 慧 丸木 孟知 丸山隼太郎 宮腰 純  
金 勤東 草野 雄矢 三井健大朗 宮崎 堂道  
桑原 千尋 古賀 邦林 山内 陽介 山川 祐司  
小林 祐介 後藤真莉奈 山岸 友美 山中 法子  
齋藤 瑞恵 坂本 卓弥 山井 悠吉 湯本 啓太  
佐藤 駿介 佐藤 崇翔 横山 弘典 李 紀廉  
柴田 裕貴 柴田 裕輔 渡邊 毅士  
志村 麗 菅原由以子  
鈴木 里実 鈴木 健文

**平成21年度 医学部入学者**

青木 里衣 青山 和弘 関 駿介 園田 至人  
安部佑里恵 新井 隆仁 反田 蓉子 高崎 敦史  
荒川 博明 飯島 雄太 高戸 結花 高橋 典子  
飯野 貴明 池田 英樹 高橋 麻衣 高橋 侑里  
石川 純一 井尻 直宏 田頭 良介 多田 歩未  
市原 康裕 伊東 彩香 辰野美智子 田中 彩  
伊藤 悠 糸川 直樹 手島 優雅 寺山 一馬  
糸谷 拓也 猪野木雄太 戸ヶ崎賢太郎 史聡 諒  
岩崎龍太郎 岩田 翔平 友成 崇葵 中澤 太一  
岩永 光巨 内田 瞬 永久保牙香 永鳥 優樹  
内山 秀平 大内 麻愉 鍋島欣志郎 西井 開  
大島 董 太田 海渡 西川 哲史 二宮 良  
太田 仁 緒方 仁志 布田 圭一 萩原 翔  
桶谷 英司 尾崎 航 畠山 誠矢 早川 優香  
小田 物也 越智 敬大 嶋山 計企 朴 実樹  
折口 慎一 柿沼 康平 林 計企 朴 裕晃  
鹿島田 涉 金井 雅彦 日野 大地 福岡 裕晃  
金木 結佳 亀井 貴紀 裴 祥存 朴 大然  
川尻 紘平 川瀬 勝隆 丸井 優子 松本 忠浩  
河野 恵 川端 慧 丸木 孟知 丸山隼太郎 宮腰 純  
金 勤東 草野 雄矢 三井健大朗 宮崎 堂道  
桑原 千尋 古賀 邦林 山内 陽介 山川 祐司  
小林 祐介 後藤真莉奈 山岸 友美 山中 法子  
齋藤 瑞恵 坂本 卓弥 山井 悠吉 湯本 啓太  
佐藤 駿介 佐藤 崇翔 横山 弘典 李 紀廉  
柴田 裕貴 柴田 裕輔 渡邊 毅士  
志村 麗 菅原由以子  
鈴木 里実 鈴木 健文

子、亀田義人、近藤尚通、野村征太郎、原田順哉、平沼泰典、三浦慶一郎「精神医学」小松英樹「疼痛緩和・周術期医学」遠山悟史、八代英子「公衆衛生学」大町和美「環境労働衛生学」村田勝宏「法医学」猪口剛「環境生命医学」小高陽子、増茂誠二「医真菌学」清宮康子、YORDAN KHAEDIR「司法心理学」大宮宗一郎「司法精神保健学」永田貴子「泌尿器科学」今村有佑、布施美樹「病態検査医学」仙波利寿「放射線医学」野見山淳、東出高至「口腔科学」石毛俊作、岩佐 悟、薄倉勝也、小野麻紀子、小池一幸、才藤靖弘、清水俊宏、山本亞有美、「耳鼻咽喉科学」野畑美、二宮 陽「整形外科学」赤木龍一郎、安部玲、重村知徳、鈴木 都、高澤誠、橋本 健、松浦佑介、村上賢一「形態再建医学」秋田新介「消化器病態学」亀崎秀宏、黒澤 浄、齋藤将喜、関本 匡、坪井優、宮村達雄、李 記「臓器制御外科学」相馬裕介、吉井 淳「小児病態学」塩濱 直、中野泰至、日野もえ子、本田喜子「臨床推論学」船越 拓、宮原雅人「免疫発生学」渡邊友紀子「分化制御学」河野麻仁「疾患生命医学」寺竹洋一「免疫制御学」高木伸介「遺伝子制御学」川島広稔、小林芳久「分子機能制御学」中村俊介「認知行動生理学」大塚裕之「眼科学」木本龍太「神経内科学」関口 緑、那須彩子、藤巻由実、増田牙子、米津慎宏「生殖機能病態学」曾根国瑞、山地沙知「先端外科学」今西俊介、遠藤悟史「救急集中治療医学」高橋和香「細胞治療学」石川崇広、大西俊一郎、岡部恵見子、齊藤昌也、佐塚小百合、田中さとみ、永野秀和、目澤守人、横尾英孝

■修士課程  
「環境生命医学」落合伸伍、北岡三幸「分子病態解析学」石毛崇之、佐藤 亮、時田和也、山本はるな「神経情報統合生理学」小出歩、富澤はるな「薬理学」友野尚弘、花開孝宏、原田新太郎、宮田祐一「病院薬学」野村里香「環境影響生化学」矢野梓葉「自律機能生理学」栗林俊輔、黒崎恵、森田亜州華「機能形態学」増田恵美「発生生物学」桑原直生「分子ウイルス学」武藤利彦、山端 渚「遺伝子制御学」金成博子「分化制御学」望月明日香「免疫発生学」知久尋美、深澤武絃「分子腫瘍生物学」

**平成21年度 大学院入学者**

■博士課程  
「環境影響生化学」陳 仕 萍、呂 颯「分子細胞薬理学」加藤辰一朗、坂本憲一、須田将吉、高橋幸子「加齢呼吸器病態制御学」北園聡「循環器病態学」エン ショウキョウ、小笠原陽

人事異動

小倉 惇、金子伊樹、小嶋 彰吾、横山智彰

教授昇任

形成外科学 佐藤 兼重(昭51)

昭和大学員外教授より 社会精神保健教育 研究センター

関根 吉統 (琉球大・平7)

准教授 病態病理学 清川 貴子 (山形大・昭59)

加齢呼吸器病態制御学 瀧口 裕一(昭58)

先端応用外科学 宮澤 幸正(昭60)

薬理学 松本 明郎 (北大院・平5)

寄付研究部門准教授より 講師 分子病態解析学 松下 一之(昭63)

(附属病院検査部 助教より)

呼吸器内科 笠原 靖紀(昭63)

(加齢呼吸器病態制御学 助教より)

遺伝子生化学 岩瀬 克郎 (熊大院・平10)

神経内科学 森 雅裕(平3)

(同助教より)

先端応用外科学 首藤 潔彦(平3)

(同助教より)

千葉県職員人事異動

保健医療大学 山浦 晶(昭40)

衛生短期大学長(衛生短期大学長)

工藤 典代(昭52) 教授 (衛生短期大学教授)

松谷 正一(昭51) 教授 (衛生短期大学教授)

緒賀多 聡(昭55) 教授 (新採)

千葉県がんセンター 木村 秀樹(昭48) 副センター長

石井 猛(昭56) 診療部長(整形外科部長)

米本 司(昭62) 整形外科部長(主任医長)

田川 正敏(昭54) がん治療開発グループ部長(病理研究部長)

久山 順平(平元) 主任医長(医長)

中村 力也(広島大平11) 医長(新採)

小丸 淳(平12) 医長(新採)

精神科医療センター 林 偉明(昭61) 医療局長(診療部長)

森山 稔弘(弘前大昭63) 診療部長(医長)

救急医療センター 川久保幸紀(平14) 医長(新採)

北村 祐司(富山大平14) 医長(新採)

中田 光政(平12) 医長(新採)

有馬 聖永(平14) 医長(新採)

鶴岡 智子(平14) 医長(新採)

千葉県職員より退職

竜 崇正(昭43) 千葉県がんセンター長

河崎 純忠(昭44) 千葉県がんセンター医療局診療部長

石川 亜紀(平9) 千葉県がんセンター医長

尾崎 大介(平7) 千葉県がんセンター医長

千葉市職員人事異動

千葉市保健所 池上 宏(昭53) 所長(環境保健研究所長)

瀬谷 彰(昭56) 保健福祉局健康部技監・中央区役所保健福祉センター技

監兼務・若葉区役所保健福祉センター技監兼務

健康増進センター主任医長事務取扱(次長・保健福祉局健康部技監・中央区役所保健福祉センター技監兼務・健康増進センター主任医長事務取扱)

宇津木 誠(昭51) 副院長(麻酔科部長)

太枝 良夫(昭53) 診療局長・眼科部長事務取扱

臨床工学科長事務取扱(診療局長・眼科部長事務取扱)

黒崎 知道(昭51) 市立海浜病院副院長

石川 洋(昭53) 千葉市保健所長

雑文雑談

彰義隊と

寿司屋

石出 猛 史(昭52)

浅草の浅草寺近くの馬道に、慶應年間創業というお寿司屋がある。現在の主人は立教大学の出身で五代目である。初代は彰義隊々士の出身で、慶應4年の上野の山の負け戦の後、千住に逃れりしたのだという。この千住の寿司屋というのが「みやこ寿司」といって、江戸で最初に握り寿司を考案したという華屋与兵衛の弟子であったという。ところで、篠田敏造の幕末三部作の一つ、『幕末明治女百話』という本に、似たような話が載っている。下谷御徒町の藤岡という家の侍が、彰義隊に加わったが脱走して、東北に向う旧幕府海軍と合流した。しかし乗艦が銚子沖で遭難したために、しばらく地元漁師の厄介になつて、直ぐに江戸にもどると、叔父の勧めで寿司屋に弟子入りし、御成街道に店を出して繁盛したという。御成街道は、上野から浅

草に向う道であるから馬道とは違う。元彰義隊々士にとつて、寿司屋への転身は便利な隠れ蓑だったのである。この馬道のお寿司屋は、寿司ネタを予め処理しておく、昔ながらの江戸前握りを出す店である。江戸前握りの代表的な寿司ネタに小肌がある。小肌は成長する前が「しんこ」、小肌が育つと「このしろ」というのは良く知られている。代表的な江戸前寿司のネタでありながら、文字通り「煮ても焼いても食えない魚」である。火を通すと屍臭がするのである。

彰義隊は慶應4年(1868)2月一橋家々臣を中心に、徳川慶喜の助命、徳川家霊廟の警護を名目に、上野の寛永寺を拠点とした反薩長勢力である。旧幕臣だけではなく、諸藩々士、博徒なども加わり、最盛期には3千4千人の隊士を擁したといわれている。同年5月15日未明、大村益次郎が指揮する薩長土肥軍の攻撃を受けて、一日足らずで崩壊し

た。この馬道のお寿司屋は最近改装したのだが、入口の横に慶應2年創業とあった。彰義隊の職は慶應4年の話では、浅草という所はパツクリ(パツクリ)が得意なんです。

第103回 医師国家試験成績

試験日	平成21年2月14日(土)・15日(日)・16日(月)
合格発表	平成21年3月27日(金)
受験者	102名(新卒者 94名)
合格者	100名 合格率 98.0%(新卒者 94名 合格率 100%)
参考	国立合格者 4,123名 合格率 92.1%
	全国合格者 7,668名 合格率 91.0%



# 新るのほな同窓会館設立事業募金状況

(平成21年3月31日現在)

平成21年の千葉大学医学部創立135周年を機に始めました募金につきまして、下記の方々からご協力を頂きました。

## 寄付納入者一覧

(敬称略)

- 一般個人**
  - 片野 鈴枝
  - 久保田 勘也
  - 稲瀬 道和
  - 進藤 輝山
- 企業・法人等**
  - 赤星工業(株)
  - 旭化成(株)
  - あすか製薬(株)
  - アステラス製薬(株)
  - アストラゼネカ(株)
  - アルフレックスファーマ(株)
  - (株)ウチダ和漢薬
  - 栄研化学(株)
  - エスエス製薬(株)
  - エーザイ(株)
  - (株)エスアールエル
  - エルメッドエーザイ(株)
  - 大塚製薬(株)
  - (株)大塚製薬工場
  - 小野薬品工業(株)
  - 科研製薬(株)
  - 化研生薬(株)
  - 川鉄千葉病院
  - (株)北原防災
  - キッセイ薬品工業(株)
  - 杏林製薬(株)
  - 興和(株)
  - 協和醗酵工業(株)
  - キリンファーマ(株)
  - 埼玉厚生連 熊谷総合病院
  - グラクソ・スミスクライン(株)
  - クラシエ製薬(株)
  - 小太郎漢方製薬(株)
  - (株)小山商会 千葉営業所
  - 佐藤製薬(株)
  - サノフィ・アベンティス(株)

- 沢井製薬(株)
- (医)三愛記念病院
- (医)三愛記念そが病院
- 参天製薬(株)
- (株)サンリツ
- (株)三和化学研究所
- シェリング・プラウ(株)
- 塩野義製薬(株)
- 白鳥薬品(株)
- (医)みはま病院
- 聖隷浜松病院
- 聖隷佐倉市民病院
- 聖隷横浜病院
- ゼリア新薬工業(株)
- 第一三共(株)
- 大正製薬(株)
- 大日本住友製薬(株)
- 大鵬薬品工業(株)
- タカイ医科工業(株)
- クラシエ薬品(株)
- 武田バイオ開発センター(株)
- 武田薬品工業(株)
- 田辺三菱製薬(株)
- (株)千葉京成ホテル
- 千葉中央会計事務所
- 中外製薬(株)
- (株)ツムラ
- 帝人ファーマ(株)
- テルモ(株)
- トリアエイヨー(株)
- (株)東葛幸文堂
- 財団法人 同仁会
- 東和薬品(株)
- 富山化学工業(株)
- 鳥居薬品(株)
- ニプロファーマ(株)
- 日本イーライリリー(株)
- 日本化薬(株)
- 日本ケミファ(株)
- 日本新薬(株)

- 日本製薬(株)
- 日本臓器製薬(株)
- 日本たばこ産業(株)
- 日本ペーリン・ガイネルハイム(株)
- ノバルティスファーマ(株)
- バイエル薬品(株)
- 萬有製薬(株)
- ファイザー(株)
- (株)富士フィルムメディカル
- 扶桑薬品工業(株)
- プリストル・マイヤーズ(株)
- (株)ほてい家
- ホテルグリーンタワー幕張
- ホテルニューオータニ幕張
- マイラン製薬(株)
- 丸石製薬(株)
- マルホ(株)
- (有)丸萬
- (株)ミノファージェン製薬
- 明治製薬(株)
- 持田製薬(株)
- (株)ヤクルト
- (株)ヤンセンファーマ
- ゆげクリニク
- ロート製薬(株)
- ワイズ(株)
- わかもと製薬(株)

### 後援会

- 浅井 俊治
- 新井 英雄
- 飯田 豊
- 池内 英男
- 和泉みどり
- 井上 憲二
- 岩花久仁子
- 海村 昌和
- 大庭 恵
- 奥山 広明
- 安達 哲夫
- 有里 敬代
- 飯田 義三
- 石田 和弘
- 伊藤 龍也
- 井福 正博
- 岩村 千秋
- 岡本 昌男
- 小野 弘子
- 文雄

### 医学部教職員等

- 佐藤 彌生
- 神経生物学
- 山内 淳
- 発生物学
- 川内 大輔
- 若松 英彦
- 吉澤 尚嗣
- 吉井 仁実
- 山本 幸一
- 森 豊
- 三田 信明
- 松田 一男
- 前田 雅治
- 堀井 宏志
- 藤井 康史
- 広沢 邦浩
- 日野修一郎
- 名倉謙二郎
- 中川 洋一
- 永井 玉枝
- 豊田 清弘
- 田中 清七
- 竹本 勝己
- 高橋 修
- 泉水 卓
- 下平 坦
- 櫻井 茂
- 小嶋 清
- 後藤 喜章
- 黒川 道徳
- 熊谷 武久
- 北爪 秀政
- 上川麻総一郎
- 加藤 誠
- 片岡 野信
- 小谷 清
- 笠間 昭彦
- 勝俣 賢二
- 金子 浩一
- 菊池 敏美
- 工藤 琢也
- 蔵田 昌子
- 小曾根卓朗
- 小西 敏郎
- 酒井 雄一
- 佐藤 恒明
- 須賀 秀晃
- 高浦 和彦
- 高橋 恒雄
- 田島 啓二
- 富永 庸平
- 豊田 浩史
- 中川 康
- 中田 徹亮
- 東ヶ崎邦夫
- 平山 敏雄
- 廣瀬 俊夫
- 藤田 邦臣
- 細川 裕之
- 松岡 才二
- 松村 雅生
- 武藤大二郎
- 山田 雄一
- 与儀 実久
- 吉岡 雅之
- 与芝 真彰
- 和田 正英

## 税理士 法人 千葉中央会計事務所

税務・会計、監査、税務相談

医師・歯科医師の税務申告  
記帳代行、医療法人会計、公益法人会計  
社会福祉法人会計等



- 公認会計士・税理士 手島 英男 税理士 吉野 精
- 公認会計士・税理士 田中 昌夫 税理士 島田 和弘
- 公認会計士・税理士 本橋 雄一 税理士 中井 武夫

〒260-0013 千葉市中央区中央1-2-1  
<http://www.ccaf.jp>

TEL 043 (225) 1211 (代)

徹底した所員教育 (資格者・職員全員年間40時間の研修義務化)





奥野 昭52	八木 橋美範	紅谷 明	寺崎 太郎	篠塚 正彦	小松 健祐	黒崎 知道	門山 周文	小野 純一	岩崎 秀昭	森本 典子	赤嶺 正裕	昭51	山本 博憲	森野 正明	野村 文夫	西山 徹	中尾 照逸	土佐 寛順	隆 元英	篠遠 彰	齊藤 万比古	小出 義雄	河内 文雄	上村 公平	大森 景文	麻生 誠二郎	秋葉 哲生	昭50	弓削 一郎	三上 恵只	西山 裕孝	田町 誓一	田中 正	高田 善治	佐藤 武幸	菊地 紀夫	金子 作蔵	入江 澄子	
妙子	美範	明	太郎	正彦	健祐	知道	周文	純一	秀昭	典子	正裕	博憲	正明	文夫	徹	照逸	寛順	元英	彰	万比古	義雄	文雄	公平	景文	誠二郎	哲生	一郎	恵只	裕孝	誓一	正	善治	武幸	紀夫	作蔵	澄子			
稲田 晴生	山本 和夫	松村 秀樹	布施 和久	高橋 典男	斎藤 裕子	伊古田 健二	川村 勝	鏡味 勝	大塚 芳克	井坂 茂夫	秋田 徹	横須賀 收	山本 日出樹	松谷 和徳	野積 邦義	小林 けい子	戸塚 清一	高林 克己	篠宮 正樹	佐伯 直勝	後藤 信昭	木村 道雄	鴨下 博	沖本 光典	入江 氏康	秋谷 徹	森川 眞一	西山 眞理子	土佐 純一	田辺 政裕	武井 泉	鈴木 亮二	五月女 直樹	田辺 恵美子	片桐 誠				
有我 隆光	昭55	吉田 弘道	林 北見	巽 浩一郎	鈴木 良一	篠遠 繁樹	小林 伸子	萬石 俊行	五十嵐 忠彦	昭54	和田 二郎	李 元浩	吉田 英生	山口 哲生	森 照男	三瀧 忠道	中村 弘	得丸 幸夫	塚本 哲也	鈴木 文晴	小林 敏生	石川 てる代	荻野 幸伸	上田 源次郎	安 徳純	昭53	湊 明	松岡 明	古川 斎	檜前 薫	中村 勉	塚田 和美	高田 俊一	鈴木 孝雄	久保田 浩一	北澄 忠雄	海宝 雄一	大迫 政智	
長 雄一	渡辺 恒家	宮本 恒彦	中村 真人	高野 正一	下条 直樹	近藤 福雄	小林 進	今関 文夫	伊澤 英次	若林 正治	吉原 俊雄	吉澤 卓	山上 岩男	塚田 純子	花岡 明宏	仲田 勲生	徳重 克彦	武永 博	菅沢 寛健	川俣 泰男	織田 成人	宇田川 晃一	石川 洋	山口 孝一	松前 和夫	堀部 和薫	福田 和也	林田 肇	中沢 敏信	高橋 啓一	須田 純	小林 正幸	木村 衡一	香村 正彦	尾崎 正彦				
深沢 毅	豊崎 哲也	田島 和幸	高木 一也	平井 真紀子	亀山 伸吉	石川 信泰	昭58	和久 真一	守月 清吾	中村 秀樹	丹沢 一郎	龍野 秀樹	白澤 真浩	下山 功夫	小森 靖	大嶺 直路	岩井 直	昭57	湯山 琢夫	松村 竜太郎	福武 敏夫	松本 俊一	長谷川 潔	中村 広志	武内 重康	瀧口 正樹	清水 俊行	座間 秀一	加藤 邦彦	伊藤 博	足立 武則	昭56	宮崎 三忠	藤田 明	水見 京子	橋本 尚武	長島 通	田中 篤	神崎 哲人
宮副 一郎	日野 泰弘	田中 裕一	滝口 良之	品田 進	今田 雄一	加藤 雄一	山西 友典	古川 敬芳	角田 隆文	酒井 直美	角谷 明子	下山 直人	篠崎 克己	小川 真	ピアス 洋子	吉川 正治	松村 千恵子	堀内 博行	福井 章	馬場 薫	永島 一彰	中島 麻里	道永 裕子	鈴木 美香	繁田 泰成	川副 陽一	岡 隆	伊藤 隆	羅 智靖	前田 勝久	水見 寿治	蓮沼 桂司	野田 和男	永井 将道	柴橋 博之				
小林 欣夫	笠原 靖紀	内田 佳孝	青木 俊郎	昭63	松江 弘之	中馬 敦	佐藤 直秀	朝比奈 真由美	江畑 龍樹	青江 知彦	昭62	結城 崇夫	松永 保	林 偉明	高谷 美成	佐藤 晴彦	菊地 浩之	安達 智江	昭61	保元 明彦	森嶋 友一	豊根 知明	坂井 誠一	菊野 薫	五十嵐 裕章	阿部 恭久	昭60	持田 晃	光永 伸一郎	星野 育男	西島 由美	露口 利夫	高石 聡	小野崎 郁史	岡本 智彦	市川 智彦	赤倉 功一郎	昭59	森田 昌男
佐藤 正俊	黒須 克志	宇野 輝彦	石川 輝彦	安原 晃一	佐藤 さゆり	田島 康夫	佐々木 一	大曾根 義輝	坂本 明美	渡辺 啓治	村松 俊範	古谷 雄三	萩原 雅志	沢田 貴弘	木村 直	金田 庸一	吉野 薫	師尾 隆雄	並木 信宏	田邊 徳幸	窪田 典子	佐藤 聡	安藤 聡	渡辺 和義	村井 尚之	松原 久裕	藤本 宏治	中川 一紀	高梨 圭史	幸田 治郎	奥脇 雅臣	伊豫 史朗	磯野 史朗						

JOEWELL

# ジョーウェル・エルゴ・スーパー剪刀 ES240-01-CFME

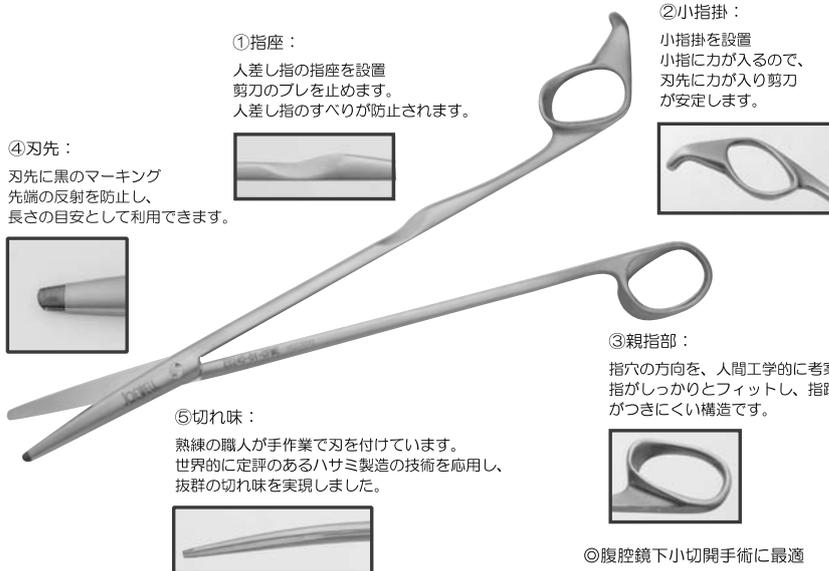
医療機器製造販売届出番号：13B3X10054000001



2008年グッドデザイン賞受賞



人間工学グッドプラクティス データベース掲載



④刃先：  
刃先に黒のマーキング  
先端の反射を防止し、  
長さの目安として利用できます。



⑤切れ味：  
熟練の職人が手作業で刃を付けています。  
世界的に定評のあるハサミ製造の技術を応用し、  
抜群の切れ味を実現しました。



②小指掛：  
小指掛を設置  
小指に力が入るので、  
刃先に力が入り剪刀  
が安定します。



③親指部：  
指穴の方向を、人間工学的に考案。  
指がしっかりとフィットし、指跡  
がつきにくい構造です。



◎腹腔鏡下小切開手術に最適  
◎一般の外科手術用

総販売元  
協和医科器械株式会社  
〒424-8688  
静岡県静岡市清水区身延北3-18  
TEL: 054-345-8105(代)  
FAX: 054-345-5315  
http://www.kyowaika.jp  
高度管理医療機器等販売業・賃貸業 許可

総発売元  
株式会社メディカル R&D  
〒135-0022  
東京都江東区三好2-1-1 伊藤ビル2F  
TEL& FAX: 03-3642-1891  
http://www.medrd.jp  
高度管理医療機器等販売業・賃貸業 許可

製造販売元  
株式会社東光舎  
〒113-0021  
東京都文京区本駒込6-12-16  
TEL: 03-3945-4012  
FAX: 03-3945-4012  
http://www.jowellmedical.com  
第3種医療機器製造販売業 13B3X10054号



## 平成21年卒業生の卒後研修先

千葉大学医学部附属病院では、卒後臨床研修プログラムとして、8種類（プログラムA1～A4，B1～B4）を用意している。1年目に大学病院、2年目に協力病院で研修する方式（プログラムA1～A4）と1年目に協力病院、2年目に大学病院で研修する方式（プログラムB1～B4）である。

また、卒後2年間の初期研修プログラムを終えた研修医を対象に後期研修医制度を立ち上げ、後期研修医の受入にも積極的に対応している。

研修先プログラム	1年目	2年目	人数	研修先プログラム	1年目	2年目	人数
千葉大 A1	千葉大医学部附属病院	千葉市立青葉病院	4	東京医療センター	東京医療センター	東京医療センター	2
千葉大 A1	千葉大医学部附属病院	千葉市立海浜病院	2	東京通信病院	東京通信病院	東京通信病院	2
千葉大 A1	千葉大医学部附属病院	国立病院機構千葉医療センター	1	NTT 東日本関東病院 A	NTT 東日本関東病院	NTT 東日本関東病院	2
千葉大 B1	JFE 健康保険組合川鉄千葉病院	千葉大医学部附属病院	2	手稲溪仁会病院	手稲溪仁会病院	手稲溪仁会病院	1
千葉大 B1	国立病院機構千葉医療センター	千葉大医学部附属病院	2	岩手県立大船渡病院	岩手県立大船渡病院	岩手県立大船渡病院	1
千葉大 B1	国立病院機構千葉東病院	千葉大医学部附属病院	2	JA 秋田厚生連平鹿総合病院	JA 秋田厚生連平鹿総合病院	JA 秋田厚生連平鹿総合病院	1
千葉大 B1	千葉市立海浜病院	千葉大医学部附属病院	1	新潟市民病院	新潟市民病院	新潟市民病院	1
千葉大 B1	千葉市立青葉病院	千葉大医学部附属病院	1	国立病院機構千葉医療センター	国立病院機構千葉医療センター	国立病院機構千葉医療センター	1
千葉大 B2	松戸市立病院	千葉大医学部附属病院	2	国立国際医療センター国府台病院	国立国際医療センター国府台病院	国立国際医療センター国府台病院	1
千葉大 B2	成田赤十字病院	千葉大医学部附属病院	2	千葉県済生会習志野病院	千葉県済生会習志野病院	千葉県済生会習志野病院	1
千葉大 B2	君津中央病院	千葉大医学部附属病院	2	千葉中央メディカルセンター	千葉中央メディカルセンター	千葉中央メディカルセンター	1
千葉大 B2	済生会習志野病院	千葉大医学部附属病院	1	聖路加国際病院	聖路加国際病院	聖路加国際病院	1
千葉大 B2	国保旭中央病院	千葉大医学部附属病院	1	東京都老人医療センター	東京都老人医療センター	東京都老人医療センター	1
千葉大 B4	沼津市立病院	千葉大医学部附属病院	2	東京警察病院	東京警察病院	東京警察病院	1
千葉大 B4	熊谷総合病院	千葉大医学部附属病院	1	日本赤十字医療センター	日本赤十字医療センター	日本赤十字医療センター	1
東大医学部附属病院 B	癌研究会 有明病院	東大医学部附属病院	1	JR 東京総合病院	JR 東京総合病院	JR 東京総合病院	1
東大医学部附属病院 B	藤枝市立病院	東大医学部附属病院	1	三井記念病院	三井記念病院	三井記念病院	1
東大医学部附属病院 C	東大医学部附属病院	東大医学部附属病院	1	東京厚生年金病院	東京厚生年金病院	東京厚生年金病院	1
京都大学医学部附属病院	京都大学医学部附属病院	京都大学医学部附属病院	1	公立学校共済組合 関東中央病院	公立学校共済組合 関東中央病院	公立学校共済組合 関東中央病院	1
秋田大学医学部附属病院	秋田大学医学部附属病院	秋田赤十字病院	1	河北総合病院	河北総合病院	河北総合病院	1
国立国際医療センター	国立国際医療センター	国立国際医療センター	3	公立昭和病院	公立昭和病院	公立昭和病院	1
東京女子医大八千代医療センター	東京女子医大八千代医療センター	東京女子医大八千代医療センター	3	武蔵野赤十字病院	武蔵野赤十字病院	武蔵野赤十字病院	1
千葉県がんセンター	千葉県がんセンター	千葉県がんセンター	3	横浜市立市民病院	横浜市立市民病院	横浜市立市民病院	1
千葉市立青葉病院	千葉市立青葉病院	千葉市立青葉病院	3	済生会横浜市東部病院	済生会横浜市東部病院	済生会横浜市東部病院	1
船橋市立医療センター	船橋市立医療センター	船橋市立医療センター	3	小田原市立病院	小田原市立病院	小田原市立病院	1
松戸市立病院	松戸市立病院	松戸市立病院	3	名古屋セントラル病院	名古屋セントラル病院	名古屋セントラル病院	1
君津中央病院	君津中央病院	君津中央病院	2	京都桂病院	京都桂病院	京都桂病院	1
JFE 健康保険組合川鉄千葉病院	JFE 健康保険組合川鉄千葉病院	JFE 健康保険組合川鉄千葉病院	2	飯塚病院	飯塚病院	飯塚病院	1
都立墨東病院	都立墨東病院	都立墨東病院	2				

### 第11回 ゐのほな同窓会学外研究助成募集要項

第11回(2009年度) ゐのほな同窓会学外研究助成の応募を左記により受け付けます。

一、助成対象 本会会員で、大学およびそれに準ずる研究所以外の施設に勤務している医師および歯科医師が、個人またはグループの代表となつて行う研究。

一、助成金 本年度助成総額は50万円。

一、応募方法 6月1日から7月31日までに申請して下さい。

一、助成研究の決定 選考委員会および常任理事会の議を経て、会長が行います。

審査結果は2009年11月末までに各申請者に通知すると共に、ゐのほな同窓会報に掲載します。

一、問い合わせおよび申請用紙請求先

千葉大学医学部内ゐのほな同窓会事務局(申請用紙は同窓会ホームページよりダウンロードすることもできます)

### おくやみ

高橋 武男(昭8) 内海 武夫(昭16) 湊 忠雄(昭17) 野辺地篤郎(昭18) 熊谷 朗(岡山大20) 藤森 英雄(昭22) 伊藤 力(昭23) 櫻井 信夫(昭24) 橋野 堯彦(昭24) 蔵方 重治(専25) 木下満洲夫(昭26) 瀬戸屋健三(昭28) 宮部 政勝(昭28) 木家 豊美(昭30) 鈴木 寿治(昭31)

山口 庚児(昭31) 荻野 彰(群馬大33) 中西 文麿(横市医大34) 中川 康次(昭36) 鈴木 直樹(昭39) 田中 瑞男(昭46) 平野 幸子(昭50) 檜山 義明(昭51) 西村 美樹(昭61)



### 新ゐのほな同窓会館設立事業会からのお願い

お陰をもちまして募金も別表(24面に掲載)のように、一億五千万円を突破しました。当面、三億円を目標と考えております。一〇一万円でご協力をお願い申し上げます。



「かたまりて花と蕾や花しどみ」加賀谷凡秋。今年も凡秋谷に花のトンネルができました。新年度を迎え、医学研究院長には徳久剛史教授の後任として中谷晴昭教授が就任され、附属病院長には河野陽一教授が再任されました。千葉大学医学部・附属病院の現状と問題点、今後の展望についてご挨拶いただきました。また、この度瑞宝重光章を受章されました磯野可一元学長に受章のご挨拶をいただきました。ゐのほな同窓会にとりましても大変名譽なことと存じます。大変残念なことに、ゐのほな同窓会長としてご尽力、ご指導を賜りました井出源四郎先生がお亡くなりになりました。先生の逝去をお悔やみして、小形岳三郎先生、伊藤晴夫先生より悼辞をいただきました。また、クラス会のご報告、教室や関連病院のご紹介と多数の寄稿をいただき感謝申し上げます。

入院空間も広がり、私たち働きやすくなるものも思っています。しかし、ソフト面では医療や教育を取り巻く環境は益々厳しくなり、医療崩壊、教育格差等の問題がマスメディアを賑わしています。こんな時こそ、これを「好機」と捉えて解決策を策定し、実行しなければなりません。学生、研修医を引き付けるには、「独自の売り」と「継続的コミュニケーション」が重要と思われまます。明治7年「共立病院」として設立されて以来、伝統ある千葉大学医学部が本来有している底力、潜在能力を発揮していく時です。そのためにも同窓生の交流の場となる「ゐのほな同窓会」の重要性は高まっています。増大した情報量を迅速かつ効果よく発信するため「オンライン会報」を開設しています。16面、鈴木信夫先生の「オンライン会報の紹介」をぜひご覧ください。会員の皆様の率直なご意見を賜れば幸いです。

吉田英生(昭53)

### 千葉医学雑誌85巻 1号目次

原 著  
The difference in the number of brain MRI T2-elongated spots between self-referred and third party-referred subjects  
Kensuke Ito

A structured reporting system supported by speech recognition for electronic medical records  
Hideto Yokoi

症 例  
臂裂近傍に生じた比較的稀な皮膚腫瘍の3例  
秋田新介 黒木知明 佐藤真嘉 嶋謙一郎 宇田川晃一 吉本信也

話 題  
千葉大学および国立台湾大学公衆衛生学院におけるサステイナブル環境健康科学集中講義の開催報告  
中岡宏子 戸高恵美子 羽田 明 森 千里 松野義晴

学 会  
第1163回千葉医学会例会・第7回千葉大学大学院医学研究院胸部外科学教室例会  
第1166回千葉医学会例会・第18回千葉泌尿器科同門会学術集会  
第1169回千葉医学会例会・第41回麻酔科例会・第69回千葉麻酔懇話会  
第7回千葉緩和医療研究会

雑 報  
癌臨床試験のデザインと倫理-第Ⅲ相試験  
関根郁夫 石塚直樹 田村友秀

編 集 後 記

### 千葉医学雑誌85巻 2号目次

千葉医学会特別講演  
教えられたこと、伝えたいこと  
多田富雄

総 説  
環軸椎回旋位固定の病態と治療  
古矢丈雄 山崎正志 大河昭彦 国府田正雄 高橋和久

原 著  
Why use steroids in lumbar selective nerve root block? - A randomized control study  
Yoshinobu Hagihara, Satoshi Ogata, Hirohisa Hirayama Tadaaki Koyama and Eishi Watanabe

症 例  
内視鏡的乳頭切開術が困難であった総胆管結石症に對して総胆管十二指腸端側吻合術を行った10例の検討  
宇田川郁夫 セレスターRD 渡邊茂樹 新村兼康 篠寄秀博 菊地紀夫

話 題  
千葉医学会賞と千葉医学会奨励賞の創設  
徳久剛史  
新型インフルエンザの現状と対策  
佐藤武幸

海 外 だ よ り  
イギリスの認知行動療法セラピストを7年で10,000人養成する計画  
小堀 修 清水栄司 伊豫雅臣

学 会  
第1171回千葉医学会例会・臓器制御外科学教室談話会

編 集 後 記